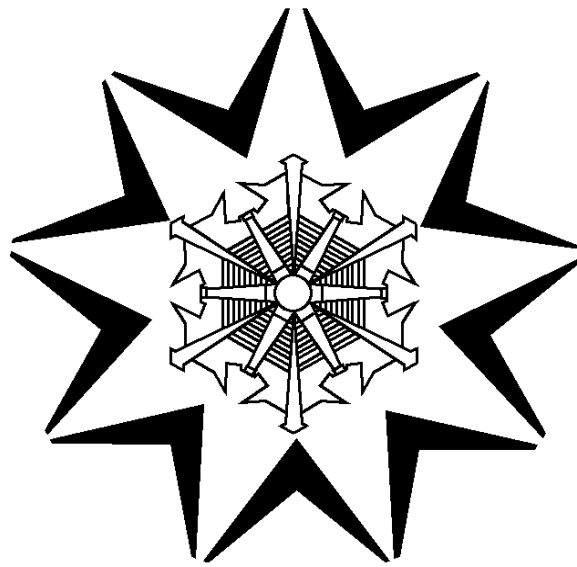


消 防 年 報

令和3年版
(令和4年発行)



呉市消防局

○ 呉市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と誇り高い伝統をうけつぎ、郷土の発展と明るくより豊かな生活をきずくため、この憲章を定めます。

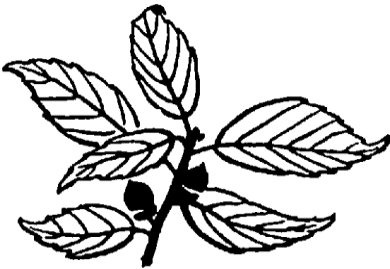
- 1 自然を愛し、清潔なまちにしましょう。
- 1 希望にみち、安らぎのあるまちにしましょう。
- 1 元気で、活気あふれるまちにしましょう。
- 1 豊かで、文化の高いまちにしましょう。
- 1 安全で、平和なまちにしましょう。

○ 呉市民の花，呉市民の木

呉市民の花 つばき



呉市民の木 かし



令和4年3月31日現在

区 分		面 積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	1平方キロメートル当たり	
					世帯数	人口
合 計		352.83	106,718	211,359	302	599
西消防署管内	小 計	141.26	61,683	119,036	437	843
	中 央	20.07	26,350	47,695	1,313	2,376
	天 応	3.95	1,790	3,761	453	952
	吉 浦	8.12	4,822	9,619	594	1,185
	宮 原	3.95	3,708	6,769	939	1,714
	警 固 屋	4.20	2,282	4,010	543	955
	昭 和	27.76	14,499	31,910	522	1,149
	音 戸	18.75	5,534	10,603	295	565
	倉 橋	54.46	2,698	4,669	50	86
東消防署管内	小 計	212.60	45,035	92,323	212	434
	広	32.73	20,794	44,470	635	1,359
	阿 賀	14.57	7,396	14,359	508	986
	仁 方	10.51	2,969	5,986	282	570
	郷 原	20.94	1,967	4,454	94	213
	下 蒲 刈	8.72	715	1,271	82	146
	川 尻	16.85	3,744	7,729	222	459
	蒲 刈	18.98	885	1,464	47	77
	安 浦	63.54	4,829	9,879	76	155
	豊 浜	11.68	787	1,163	67	100
	豊	14.08	949	1,548	67	110

※面積の総数 352.83km²
令和2年全国都道府県市区町村別面積調より、総面積が増加（対前年比+0.02km²）。なお、各区分（地域）の面積は測定されておらず減少した面積の詳細を示すのは困難であるため、各区分の面積並びに比率は、平成25年10月1日現在のデータ（面積総数353.86km²）のままである。世帯数、人口は住民基本台帳による。

ま え が き

この年報は、呉市消防局管内における火災・救急等の実態及び消防業務の概要を収録し、今後の消防行政の合理的な運営の資料とし、併せて住民の皆様に消防行政についての理解と認識を深めていただき、防火・防災意識の高揚を図るために作成しました。

なお、統計資料は原則暦年で表し、予算関係は年度でまとめました。

令和4年9月

呉市消防局



呉市消防局シンボルマーク

呉市の花であるつばきをデザイン化し、中央に入れ、「人々の生命と財産を守る」という意味の英文「WE GUARD LIFE&PROPERTY」を外側に巻いて職員の使命と心意気を示し、その周りを呉市のマーク（9つのレの字）と、9つの峯（山）で囲み、市民に親しまれ、信頼される消防局をアピールしています。



呉市消防局マスコットキャラクター
「フォーエール」くん

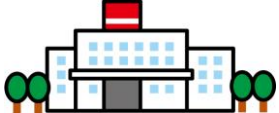
愛称は、くじらの「ホエール」と呉消防の4つ(four)のエール「愛・絆・情熱・希望」をを組み合わせています。

海洋都市「呉」の海、海の王者「くじら」、消防車の赤色、また、背中から延びたホースで様々な災いの炎を消火する姿をイメージしています。

平成20年3月、自治体消防制度60周年を記念して公募し、80点の応募作品の中から決定しました。

呉市消防局一目統計

令和4年4月1日現在

面 積	人口・世帯数	署 所 数	消防吏員数
 3 5 2 . 8 3 k m²	 人口 211,359 人 世帯数 106,718 世帯	 消防局 1 消防署 2 分 署 2 出張所 10	 3 5 2 人
消 防 予 算	ポンプ車等	はしご車・特殊車等	救 急 車
 3,535,361 千円 (令和4年度)	 ポンプ車 21 台 タンク車 3 台 小型動力ポンプ付積載車 6 台	 はしご車 2 台 化 学 車 2 台 救助工作車 2 台	 高規格車 6 台 2 B 型 10 台 救急艇 1 隻
火災件数	救急件数	救助件数	119番通報件数
 60 件	 10,339 件	 54 件	 14,385 件
防火対象物	危険物施設	消防団員数	
 6,513 施設	 554 施設	 1,683 人	

※火災・救急・救助・119通報件数は、令和3年1月1日から令和3年12月31日までの件数

吳 消 防 愛 唱 歌

作詞 石 本 美由起
作曲 市 川 昭 介
編曲 馬 場 良

[illegible]

一
四季が 綾なす 夢を追ひ
集う 吾らに 絆あり
呉を愛して 呉に生き
ひとりひとりが 消防の
使命に生きる よろこびを
いざ 潮風に 唄おうよ

二
海と 街とを 見下して
景色 和やか 灰ヶ峰
呉を愛して 呉に住み
共に 勇気を 分けあつて
たじろぐことの ない力
いざ いつの日も 試そうよ

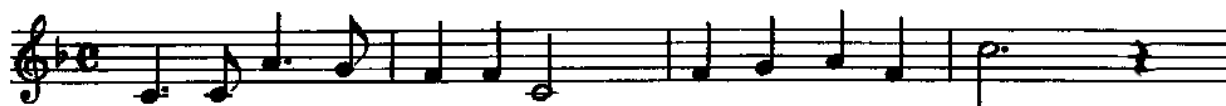
三
元氣 いっぱい 火も水も
守る 努力に 憂いなし
呉を愛して 呉の明日
共に信じて 取る舵は
誇りに生きる 道しるべ
いざ もろ共に 進もうよ

四
古い歴史に 新しい
明日を 創ろう 彩どろろ
呉を愛して 呉のため
常に 安全 都市として
平和の花を 美しく
いざ 限りなく 咲かそうよ

呉 消 防 の 歌

作詞 不 詳

作曲 古 関 裕 而



う し ろ に た か き は い が み ね



り そ お と あ お ぎ い ざ つ ど え



お と こ そ な え に う で も な る り ー ん と は り き る ち か ら い き



く れ し ょ う ほ う の こ の こ こ ー ろ

呉 消 防 の 歌

一、うしろに高き灰ガ峰

理想と仰ぎいざ集え

男備えに腕も鳴る

凜と張りきる力意氣

呉消防のこの精神

二、火の粉をついて眉あがる

渦巻く炎いざはらえ

男生命を火と賭けて

空に虹さす水柱

呉消防のこの手並

三、緑の郷土流し去る

出水も波もいざ防げ

男しぶきを身にあびて

見ろよ恐れぬ力こぶ

呉消防のこの栄誉

四、団結堅く再建の

貴きたからいざ護れ

男水火に先がけて

希望の花と咲き馨る

呉消防のこの使命

目 次

総 括

消防のしごと	1
消防のあゆみ	2
消防機関の配置	10
消防組織と事務分掌	11
消防局運営方針	12

総 務

消防職員	13
・階級別年齢構成	13
・勤務年数別職員構成	13
・消防職員の配置状況	14
消防職員の研修体系	15
・呉市消防局の目指すべき職員像	15
・令和3年度職員研修結果	16
消防予算	17
・過去5年間の予算概要	17
施設整備	18
協定等の締結状況	19

予 防

予防査察	20
・消防用設備等を必要とする 対象物の現況	20
・防火管理者を必要とする 対象物の現況	21
・消防用設備等を必要とする 対象物の査察実施状況	22
建築物の防火指導	23
・建築同意の状況	23
・消防用設備等の届出状況	23
・違反処理状況	23
・届出対象物の現況	24

・届出対象物の査察実施状況	24
・各種届出書等の受理状況	25
・防火対象物定期点検報告と 特例認定状況	26
・防災管理者の選任届・ 自衛消防組織届出現況	26
・中高層建築物の現況	26
・住宅用火災警報器の設置率	26
火薬類の規制	27
・火薬類関係事業所数	27
・火薬類関係貯蔵箇所数	27
・火薬類許可件数	28
・火薬庫保安検査実施棟数	29
・火薬類立入検査実施件数	29
・火薬類届出状況	29
危険物の規制	30
・危険物施設現況	30
・危険物施設査察実施状況	30
・危険物関係事務処理状況	31
高圧ガスの保安	32
・高圧ガス事業所の現況	32
・高圧ガス保安法事務処理状況	32
消防クラブ	33
防災センター	34
・施設の内容	35

警 防

火 災	36
・火災概況	36
出火原因	37
・過去10年間の火災の 主な出火原因	37

・ 出火原因別の月別火災件数	38	・ 過去 5 年間の救助出動件数	
・ 出火原因別の火災状況	39	及び活動状況	61
・ 用途別・原因別火災概況	40	・ 救助出動状況	62
・ 過去 10 年間の火災の推移	41	・ その他の災害出動状況	63
・ 主な火災	42	消防水利	64
・ 月別火災発生件数及び		消防機械	65
損害額	43・44	・ 主な消防車両等	65
・ 建物火災	45	・ 主な機械器具	65
・ 過去 10 年間の出火率の変化	45	消防通信	66
・ 建物火災損害額の推移	46	・ 呉市消防局管内の	
・ 建物火災の主な原因別火災状況	46	消防無線施設配置図	66
・ 火災種別件数	47	・ 災害等受信総件数	66
・ 火災による死傷者	48	・ 119 番受信状況	67
・ 署所別火災発生状況	49	・ 過去 5 年間の	
・ 林野火災発生状況	50	登録制通報装置受信状況	68
救 急	51	・ 映像通報システム利用状況	68
・ 救急活動状況と前年比較	51	・ 多言語電話通訳サービス	
・ 救急隊別出動状況	52	利用状況	68
・ 月別救急出動状況	53	・ 過去 5 年間の出動指令状況	68
・ 曜日別救急出動状況	54	・ 通信指令施設の現況	69
・ 事故種別・医療機関別搬送状況	55		
・ 管内管外別搬送人員状況	56	消 防 団	
・ 発生場所別状況	56	・ 消防団の組織と人員等	70
・ 現場到着所要時間状況	57	・ 消防団員の年齢構成	71
・ 収容所要時間状況	57	・ 消防団員の勤続年数	71
・ 年齢別搬送状況	57	・ 消防団担当区域	72
・ 救急隊員による応急処置			
実施状況	58		
・ 傷病程度別搬送状況	58		
・ 過去 5 年間の救急活動状況	59		
・ 普及啓発活動実施結果	59		
・ 普及啓発活動実施状況	59		
救急隊支援	60		
・ 救急隊支援出動状況	60		
・ 救急出動・支援出動件数の推移	60		
救 助	61		

総括

消 防 の し ご と
消 防 の あ ゆ み
消 防 機 関 の 配 置
消 防 組 織 と 事 務 分 掌
消 防 局 運 営 方 針

消防のしごと

消防は、市民の生命・身体・財産を災害から守るため、その施設と人員を活用して水火災や地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としています。

本市の消防は、消防局（消防総務課、警防課、予防課）、2消防署（西・東消防署）、2分署（昭和・音戸分署）、10出張所の常備消防と1本部36分団の非常備消防（消防団）で構成しています。消防署、分署及び出張所には、ポンプ車や化学車、救助工作車、高規格救急車など多種多様な車両を配備し、火災・救助・救急などに対処しています。加えて、NBC災害やテロリズムなどの新たな脅威にも対処するため、多様な装備を配備するとともに、徹底した技術錬成により訓練された消防隊員をもって即時対応の体制をとっています。また、東消防署には防災センターを併設し、市民に対し防災に関する知識及び技術の普及並びに防災意識の高揚を図っています。

一方、平成30年7月、本市は豪雨により大きな被害を受けました。消防は豪雨災害発生以降、地域コミュニティにおける自助機能のさらなる強化を図るため、自治会などの関係機関と連携して避難訓練等を行っています。

特に、令和4年1月には、複雑多様化する災害への対応能力と地域防災力の強化を目的として整備した、大規模災害対応訓練施設が完成し、地域住民を対象とした防災講習会などを開催し、災害に対する知識と技術を深め、災害に強いまちづくりを推進していきます。

また、防火対策として、火災予防運動や住宅用火災警報器の設置指導などの組織的な防火活動を展開し、地域住民に広く火災予防思想の普及を図っているほか、店舗や宿泊施設を始めとする防火対象物での立入検査や危険物施設に対する保安指導などを通じ、火災予防及び火災につながる危険物事故防止の徹底を図っています。併せて、火災が発生したときには、消火活動の開始と同時に火災原因及び損害の調査を行い、その結果を資料化するとともに、事例研究を重ねることにより、火災予防対策や警防対策の強化も図っていきます。

呉市消防局は、消防団や地域住民と協働して「地域防災力及び減災力」を強化することにより、市民一人ひとりが安全と安心を実感できるまちづくりの実現に取り組めます。

消防のあゆみ

- | | | | |
|---------|---|---------|--|
| 明治21. 1 | 阿賀大入で160棟を焼く大火
死者3名を出す | 8. | 海軍工廠に救急車を配備 |
| 22. 7 | 鎮守府開庁 | 9. 4 | 呉市消防組にラッパ手を配置 |
| 25. 3 | 宮原村字神原で全焼39棟、半
焼6棟の火災 | 10. 2 | 堺川通2丁目青物市場の火災
で20棟全焼 |
| 27. 2 | 勅令消防組規則公布 | 10. 4 | 呉市消防協会が設立される |
| 28. 12 | 灰ヶ峰の山火事で3町歩焼失 | 10. 7 | 消防手訓練で殉職 |
| 29. 4 | 造船部職工溜から出火4棟及
び端舟17艘を焼く | 12. | 林野火入及び火気取締規定 |
| 34. 4 | 四ヶ町村（和庄・宮原・莊山
田・吉浦）の消防組の連合勢
揃いを二河川川原で行う | 12. 2 | 呉市消防組に常備部（夜間）を
置く
二河川川原で消火器の消火実
験が行われる |
| 35. 10 | 呉市制施行 | 12. 10 | 呉市消防組、金馬簾1条認可 |
| 36. 7 | 大豪雨による全壊17戸、半壊
300戸、浸水家屋2,386戸 | 13. | 呉市消防組の常備消防が昼夜
常駐となる |
| 36. 9 | 呉市消防組創立式を行う
（4部で130名） | 14. 1 | 川尻町に公設消防組設置 |
| 37. 8 | 和庄本通2丁目の呉興産勸商
場の火災で全焼59棟、半焼10
棟、819坪焼失 | 15. 1 | 阿賀延崎で全焼13棟、半焼
5棟の火災 |
| 38. 6 | 大地震により鎮守府庁舎階上
監獄等崩壊、家屋破損など相
当の被害あり
（死者6名、重傷者29名） | 15. | 呉市消防組にサイドカー1台
購入
海軍工廠に消防艇を配備
蔵本通に常備消防庁舎建築 |
| 39. 5 | 警固屋町制施行 | 昭和 3. 4 | 呉市消防組常備消防部33名に
吉浦町、警固屋町、阿賀町が
呉市に合併 |
| 40. 1 | 仁方町制施行 | 4. 6 | 呉市消防組新庁舎と望楼
（32m）竣工 |
| 41. 3 | 和庄本通4、5丁目勸商場より
出火
全焼90棟、半焼11棟、損害額
30万円に及ぶ | 5. 12 | フォード貨物自動車を購入し
はしご自動車に改造
（12m級）
広村消防組に金馬簾1条認可
防護団発足 |
| 41. 3 | 呉湯屋火災共済会結成 | 6. 1 | 阿賀町消防組に金馬簾1条認
可 |
| 42. 2 | 灰ヶ峰で山火事45町歩焼失
阿賀延崎で76棟、760坪焼失
の大火 | 6. 11 | 呉市消防組に金馬簾2条認可 |
| 43. 4 | 呉市消防組5部制に（160名） | 7. 3 | 海岸通3丁目の火災で全焼
11棟
仁方町消防組に金馬簾1条認
可 |
| 45. 5 | 三条通の火災で10棟全焼、
4棟半焼、破壊1棟 | 8. 2 | 非常水火災警防規程制定 |
| 45. 9 | 東堺川通1丁目で全焼8棟の火
災 | 8. 9 | 神田町の火災で全焼20棟、半
焼5棟 |
| 45. 12 | 元町で13棟全焼の火災 | 9. 9 | 松本町の火災で全焼6棟、
半焼2棟、死者11名 |
| 大正 4. 2 | 吉浦町制施行 | 11. 2 | 中通日の丸百貨店火災で17棟 |
| 7. 1 | 中通春日座の火災で10棟全焼 | | |
| 7. 4 | 呉市水道給水開始
（本庄水源地竣工） | | |

- が全焼
11. 9 呉市消防組に金馬簾3条認可
11. 12 吉浦消防組に金馬簾2条認可
阿賀消防組に金馬簾2条認可
12. 1 中通楽天地の火災 全焼11棟
半焼6棟
12. 4 阿賀消防組に常備部を置く
吉浦消防組に三輪ポンプを配
備, 常備部分遣所を設置し,
4名を配置
12. 5 吉浦中町の火災で全焼7棟
警固屋消防組に常備部分遣所
設置
12. 10 宮原第2中学校火災で校舎外
11棟全焼, 5棟半焼
13. 警固屋町に婦人消防隊 (120
名) 少年消防隊 (60名) 組織
13. 1 広交差点で10棟焼く火災
14. 4 呉市警防団発足総数2, 337名
16. 4 軍の要請に基づき仁方町, 広
村を合併
17. 1 広町に常備部広分遣所開設し
ポンプ自動車1台, 人員6名を
配置
18. 1 呉及び広に特設消防署設置
呉・ポンプ自動車8台, 3出張
所 (定員152名, 実員36名)
広・ポンプ自動車5台, 1出張
所 (定員82名, 実員12名)
19. 4 警防団の非常応援規程定めら
れる
19. 5 重要防空都市に指定される
仁方出張所開設
19. 6 学徒を動員し消防署に配置
呉消防署に93名, 広消防署に
50名
19. 10 海岸, 岩方, 本通, 宮原13丁
目出張所を開設
19. 12 長浜出張所を開設
20. 3 少年消防官採用
19日呉空襲始まる
20. 9 枕崎台風
死者1, 154人, 負傷者440人,
家屋流出1, 162戸, 半壊家屋
792戸
20. 10 連合軍呉市へ進駐
21. 3 呉消防署の定員160名, ポン
プ車20台, 広消防署の定員94
名, 宮原, 岩方, 栄町, 原,
横路, 三坂地出張所廃止
21. 12 海軍防火隊46名, ポンプ車2
台, 消防艇1隻, 呉消防署へ
移管
22. 8 呉防火協会設立
23. 3 消防組織法施行され自治体消
防発足, 呉市消防本部設置
23. 7 消防法制定公布
23. 10 呉市危険物取締条例施行規則
公布
24. 3 消防吏員増員され272名とな
る
24. 6 デラ台風 死者4人, 全半壊
家屋16戸
24. 9 呉市消防章制定, 階級章改正
25. 6 呉市消防共済会を組織
呉消防署を呉市西消防署に,
広消防署を呉市東消防署に改
称する
火災出動中, 消防士殉職
25. 9 キジア台風 死者1名, 家屋
浸水等1, 173戸
26. 8 呉市水防規程施行
26. 10 ルース台風 死者2名, 家屋
浸水等823戸
呉市火災予防条例公布施行
27. 6 呉市消防本部で救急業務開始
27. 11 消防艇が無償で呉市に払い下
げられる
28. 3 海岸3丁目で全焼19棟, 24世
帯焼け出される
28. 6 阿賀出張所移転新築
29. 9 洞爺丸台風 家屋浸水等
1, 507戸
29. 10 呉市防災協会発足
29. 11 消防一斉指令機を設置
30. 2 中短波無線機装備
30. 3 三坂地小学校少年消防クラブ
が消防庁長官から表彰される
30. 6 海岸, 本通出張所を廃止
条例定員215名に改定
30. 9 台風22号豊栄新開決壊, 流水
浸水家屋1, 753戸
(災害救助法適用)
30. 10 海岸, 本通出張所再開, 港湾

- 出張所を廃止，通信員の専従制を採用
30. 12 舟園町（現在の宝町）の劇場火災で消防士殉職
31. 10 郷原村，天応町，昭和村が呉市と合併する
31. 12 GMC米軍消防車を改造した12m級のはしご車を配置
32. 4 消防職員30名減で実員190名
33. 3 呉市にはじめて火災報知機がつく（40基）
34. 1 署の機械係廃止本部に統合
34. 10 消防本部に企画広報係新設
35. 4 東消防署庁舎落成
35. 7 集中豪雨 死者3人，全壊浸水等353戸
36. 2 東畑町母子寮の火災で全焼5棟，23世帯焼け出される
36. 3 両城中学校の火災で5棟全焼
36. 5 仁方出張所新築
36. 8 消防本部に予防課を新設3課となる
警防課に通信係を，予防課に指導係を新設
37. 5 超短波無線機を装備
警固屋出張所新築
37. 6 呉市安全会議を結成
37. 12 消防艇廃船となる
38. 4 救急業務が法制化される
38. 5 川尻町消防団に常備部が置かれる
38. 10 呉市消防本部を呉市消防局と改称
38. 12 消防局，西消防署着工
39. 3 吉浦出張所新築
39. 12 消防局，西消防署庁舎が落成
40. 9 海上保安部と船舶の消防業務について業務協定を締結する
41. 3 川尻町で救急業務を開始
41. 5 第7次火災報知機設置で計224基となり設置を終わる
41. 10 18m級はしご車を購入
42. 5 消防一斉指令装置を更新
42. 7 集中豪雨により死者88名，負傷者467名，救出作業中の消防士長殉職，その他多数の職員が負傷（災害救助法適用）
43. 3 吉浦魚見山隧道に火災報知機発信機及び消火器等が備えられる
43. 8 宮原出張所新築
43. 10 消防局と呉海上保安部による業務協定 締結
44. 3 林野火災で消防士2名殉職
44. 10 第24回法制委員会当市で開催
45. 4 化学消防車購入，2台となる
45. 9 呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約締結
46. 4 広町大張矢の林野火災で消防職員18名殉職（焼失面積340ha，損害額4,260万円）
46. 6 昭和出張所開設
46. 7 救急車のサイレンがピーポーサイレンに変わる
林野火災特別地域の指定を受ける
46. 9 林野火災工作車を購入
46. 11 赤バイ5台購入 32m級はしご付き自動車を購入，西消防署に配置
46. 12 昭和通2丁目 I H I 呉造船所の火災焼失面積3,078㎡，損害額103,128千円
47. 4 大張矢林野火災殉職者の慰霊碑建立除幕式を行う
47. 5 天応出張所開設
48. 3 消防研究所が大張矢林野火災跡地に無人気象観測機を設置
48. 7 陸上自衛隊第13師団に消防職員10名を派遣 レンジャー隊員の養成を始める
48. 8 隔日給水制限（20日～26日）
48. 10 予防査察員専従制となる
49. 1 阿賀町の林野火災で消防団員殉職
49. 6 川尻町の消防事務を受託し，川尻出張所を開設する
条例定員233名に改正
49. 7 火災報知機を全面的に廃止
49. 8 消防係を警防係に，通信係を第一通信係・第二通信係に改め川尻出張所に所長を置く
50. 7 東・西消防署の査察係に係長を置く

- 大張矢に設置した無人気象観測機を撤去
50. 9 安浦町消防団に常備部が置かれる
51. 11 火災出動中、消防士長1名殉職
51. 12 呉市にはじめて婦人消防団員誕生
(大入、冠崎、情島各8名)
52. 11 長浜出張所廃止
53. 3 自治体消防30周年記念行事を行う
西消防署に訓練塔を設置
(高さ9.2m)
53. 4 条例定員247名に改正
53. 7 海岸出張所廃止
53. 8 3日周期の給水制限
(8/17~9/5)
53. 11 消防救急指令装置を設置する
山陽ジャスコより指揮車兼広報車の寄贈
54. 2 テレホンガイド3回線設置
54. 4 副長を副署長に改正
西消防署に署長補佐(警防担当及び予防担当)を設ける
54. 8 昭和出張所に救急車を配置
54. 9 照明電源車を配置
赤バイ2台廃車
55. 2 損保からスノーケル車の寄贈
55. 3 長浜出張所新築
55. 4 条例定員253名に改正
東消防署に署長補佐(警防担当)を設ける
広島県救急医療情報システムによる呉地域救急医療情報センター運用開始
56. 3 救急波開局に伴い簡易多重無線設備設置
56. 4 消防局に危険物係を設ける
東消防署に署長補佐(予防担当)を設ける
56. 10 赤バイ3台廃車
56. 11 警固屋地区子供会連合会少年消防クラブ結成
56. 12 広町中新開幼年消防クラブ結成
広町長浜保育所消防クラブ結成
57. 3 本通出張所新築
57. 4 条例定員255名に改正
署長補佐制度を廃止
57. 5 塩焼婦人消防クラブ結成
57. 6 日立清水地区婦人防火クラブ結成
57. 7 呉市少年婦人防火委員会設置
57. 9 「救急の日」「救急医療週間」制定
呉東ロータリークラブから指揮広報車の寄贈
I H I でタンカー火災 死者6名、負傷者8名
57. 10 日本防火協会から防火広報車の寄贈
57. 12 救助工作車を配置
58. 3 中通大火第3出動
全焼5棟、半焼1棟、部分焼4棟
25店舗被災、焼失面積2,716㎡
阿賀出張所新築
58. 10 第52回法制委員会当市で開催
59. 2 呉市防災センター・東消防署建設基本計画作成
59. 3 東消防署に訓練塔(地下80トン水槽、地上5階建)建設
41m級はしご車を購入し、西署に配置 32m級はしご車を東消防署に配置
59. 4 昭和59年度中消会春季役員会総会及び意見発表会を当市で開催
59. 7 呉市防災センター・東消防署着工
60. 2 テレホンガイド6回線に増設
60. 3 警固屋地区子ども会連合会少年消防クラブが(財)日本防火協会会長から表彰される
18m級はしご車廃車
60. 4 安浦町の消防事務を受託し、安浦出張所を開設
条例定員273名に改正
60. 12 呉市防災センター・東消防署落成
61. 3 消防局、西消防署庁舎外壁改修工事
61. 12 広島ガス(株)から救急車の寄贈

62. 1	救助業務が法制化される		出張所落成
62. 8	仁方本町2丁目踏切事故	6. 3	消防局，西消防署庁舎4階を通信指令室，講堂に改装
	応援バスと電車衝突59名負傷	6. 4	警防課に救急救助係を設置
62. 10	昭和市场センター・昭和出張所移転落成		救急救命士誕生（2名）
	広島県内広域消防相互応援協定締結	6. 8	異常渇水により県内各地で林野火災多発
63. 3	自治体消防40周年記念行事を行う		県内相互応援協定に基づき竹原市に警防隊派遣
	デジタル電子交換機更新	6. 10	大新土木（株）から高規格救急車（西消防署）の寄贈
63. 7	昭和町日新製鋼（株）呉製鉄所でガス爆発事故，死者4名負傷者30名		呉市防災協会創立40周年
63. 10	東消防署に人員輸送車（マイクロバス）を配置	7. 1	阪神・淡路大震災に救助隊を派遣
63. 12	林野火災工作車を廃車	7. 2	仁方保育所幼年消防クラブ結成
	広島県同栄社農業協同組合連合会から救急車の寄贈	7. 3	消防緊急通信指令施設導入
平成 1. 2	救助工作車を西消防署に配置		消防局・西消防署庁舎用非常用自家発電施設完成
	15m級はしご付消防自動車を昭和出張所に配置	7. 6	緊急消防援助隊発足
1. 9	社団法人 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈	7. 11	西消防署のスノーケル車を廃車し15m級はしご付消防自動車を配置
1. 11	呉グリーンライオンズクラブから調査車及び査察車の寄贈	8. 1	緊急援助隊広島県合同訓練を広島市で実施
2. 3	呉中央信用金庫から救急車の寄贈	8. 7	塩焼婦人消防クラブが（財）日本防火協会会長から表彰される
2. 4	広島県内航空消防応援協定締結	8. 8	大新土木（株）から高規格救急車（東消防署）の寄贈
3. 2	音戸の瀬戸水中翼船衝突事故負傷者54名	8. 10	消防職員委員会発足
	仁方しろはと幼稚園幼年消防クラブ結成	8. 12	消防団に携帯無線機を配備
3. 3	東消防署に30m級，四輪操舵のはしご付消防自動車を配置	9. 3	安浦町，安芸津町両町にまたがり林野火災発生 185ha焼損（安浦町109ha，安芸津町76ha）
3. 9	台風19号により，災害救助法の適用を受ける		消防局庁舎耐震改修工事着工
	死者2名，負傷者6名，家屋全壊64戸，一部破壊3,749戸，浸水家屋1,725戸，道路損壊38か所他		大張矢の無線中継所新設
4. 11	焼山めいわ保育園幼年消防クラブ結成		呉市中央公園に飲料水兼用耐震性貯水槽100 t 設置
5. 7	集中豪雨により両城2丁目で崖崩れ 死者2名		高度救助資機材導入に併い，Ⅲ型救助工作車東署に配置
5. 10	仁方支所・仁方公民館・仁方	9. 4	宮原出張所，警固屋出張所を統合し，南出張所を開設
			管内救急隊は6隊となる
			条例定員320名に改正
		9. 8	照明電源車を廃車
		9. 10	日立清水地区婦人防火クラブ

- が(財)日本防火協会会長から表彰される
- 大新土木(株)から高規格救急車(昭和出張所)の寄贈
10. 2 名田保育園幼年消防クラブ結成
- 広公園に飲料水兼用耐震性貯水槽100 t 設置
10. 3 呉市自治体消防50周年記念行事を行い、式典で呉消防愛唱歌とシンボルマークを披露
10. 7 青蓮寺幼稚園幼年消防クラブ結成
10. 10 昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ結成
10. 11 携帯電話119番受付開始
10. 12 大新土木(株)から高度救命用資機材装備の2B型救急車(西消防署)の寄贈
11. 4 条例定員338名に改正
11. 6 集中豪雨により、災害救助法の適用を受ける
死者8名、負傷者5名、家屋全壊18戸、半壊・一部損壊146戸、浸水家屋1,780戸
11. 8 静止画像伝送システム導入
11. 10 豊浜、豊町の消防事務を受託し、大崎下島出張所を開設
救急艇を建造し、同出張所に配置
管内救急隊は7隊となる
12. 1 安芸灘大橋開通
12. 2 大新土木(株)から高規格救急車(東消防署)の寄贈
12. 4 参事補、課長補佐を設ける
13. 3 安芸灘を震源とするM6.7の芸予地震発生
(災害救助法の適用)
死者1名、負傷者90名、家屋全壊58戸、半壊279戸、一部損壊14,179戸
13. 4 平成13年度中消会春季役員会・総会及び意見発表会を当市で開催
13. 9 救命消防隊発足
13. 10 郷原出張所開設
管内救急隊は8隊となる
14. 2 大新土木(株)から高度救命用資機材装備の2B型救急車(西消防署)寄贈
14. 3 呉市消防局ホームページ開設
14. 4 吉浦出張所、天応出張所を統合し、狩留賀出張所を開設
管内救急隊は9隊となる
女性消防吏員誕生
通信指令室を設け、室長を置く。予防課調査係を警防課へ配置し、警防課機械係を警防課装備係とする
14. 5 呉市防災センター入館者10万人達成
14. 6 横路保育所幼年消防クラブ結成
14. 8 集中豪雨により、西三津田町で崖崩れ 死者1名
15. 3 可搬式高圧噴霧消火装置(インパルス消火システム)2基導入
西消防署40m級はしご付消防自動車更新
15. 4 呉市と安芸郡下蒲刈町合併
呉市消防団3分団増で24分団となる
15. 10 豊田郡川尻町で建物火災1棟全焼、死者5名
15. 10 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を当市(呉大学)で開催
16. 1 バブコック日立エコークラブから消防指令車の寄贈
16. 2 ダイユウ技研土木(株)から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
16. 4 呉市と豊田郡川尻町合併
消防局に通信指令課を新設4課となる
警防課通信第1係・通信第2係を通信指令課指令第1係・指令第2係に改編する。
各署に警防司令官を設ける
各署の警防係を廃止
条例定員356名に改正
呉市消防団2分団増で26分団となる

- | | | | |
|--------|---|--------|---|
| 16. 9 | 台風18号により，災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
負傷者14名，家屋全壊14戸，半壊29戸，一部損壊2,255戸 | 20. 6 | 本通4丁目建物火災第3出動（全焼1棟，焼失面積約1,365約1,36㎡） |
| 16. 10 | I P 電話119番受付開始 | 20. 7 | 波多見保育所幼年消防クラブ結成 |
| 16. 11 | 江田島市制施行に伴い，江能広域行政組合が解散
音戸町，倉橋町から消防事務を受託する
音戸町，倉橋町用の消防緊急通信指令施設導入
条例定員402名に改正
1本部3署12出張所となる
管内救急隊は11隊となる | 20. 11 | 豊島大橋開通
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定締結 |
| 17. 3 | 呉市と音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町が合併して人口約26万人となる
蒲刈出張所開設
蒲刈出張所へダイユウ技研土木（株）から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
管内救急隊は12隊となる
1本部3署13出張所となる
呉市消防団は59分団増となり85分団となる | 21. 4 | 条例定員380名に改正
川尻・大崎下島出張所18人体制から12人体制へ変更
呉市消防団を再編し，85分団から37分団となる |
| 18. 3 | 通信指令庁舎建設工事開始 | 22. 4 | 条例定員を370名に改正
本通出張所と阿賀出張所を統合し，救急隊を配備した阿賀北出張所を開設
1本部3署11出張所体制（管内救急隊は14隊）となる |
| 19. 4 | 高機能消防指令センター（通信指令庁舎）運用開始
高圧ガス保安法及び火薬類取締法に関する事務が県より移譲される | 22. 7 | 7月12日からの大雨により災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
死者1名，負傷者2名，家屋全壊4戸，半壊15戸，一部損壊38戸，床上浸水172戸，床下浸水319戸 |
| 19. 9 | 大新土木（株）から救急救命士仕様2B救急自動車（川尻出張所）の寄贈 | 22. 10 | 掲山林野火災（11ha焼損） |
| 20. 1 | 呉消防マスコットキャラクター「フォーエールくん」決定 | 23. 3 | 東日本大震災による甚大な津波被害が発生し，緊急消防援助隊広島県隊として宮城県名取市へ派遣
（3/12～4/13，7名） |
| 20. 3 | 自治体消防60周年記念ミュージカル「地震カミナリ火事オヤジ」公演 | 23. 5 | 第93回全国消防長会財政委員会が当市で開催 |
| 20. 4 | 警防課内に危機管理室を新設
通信指令課に通信司令官を設ける
長浜出張所を廃止し，1本部3署12出張所となる
条例定員385名に改正
仁方出張所に救急自動車配備 | 23. 9 | 呉市消防局庁舎建設推進会議設置 |
| | | 24. 3 | 消防局・西消防署庁舎改修工事（外壁・防水・配水管・排水管） |
| | | 24. 4 | 3署に救急係を新設
西・東消防署の予防係を予防査察係に名称変更
東広島・呉自動車道が部分開通（12.3km） |
| | | 25. 2 | 東消防署に30m級の水路管付はしご車を配置 |
| | | 25. 3 | 第2音戸大橋開通 |

25. 4 消防総務課経理係を消防総務課管理係に
警防課救急装備係を警防課救急係に改編する
26. 8 8.20豪雨災害により甚大な被害を受けた広島市へ県内広域消防相互応援協定に基づき応援隊を派遣
27. 1 東消防署の救助工作車Ⅲ型を更新
27. 3 東広島・呉自動車道が全線開通（高屋～阿賀 32.8km）
27. 4 警防課危機管理室を市長部局総務部に危機管理課として移設
27. 6 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事設計者選定委員会設置
28. 3 消防庁長官から呉市消防局・呉市消防団が竿頭綬を授与された呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う基本設計策定
消防救急デジタル無線運用開始
28. 4 呉市が全国で46市目（佐世保市と同時）の中核市へ移行
29. 4 通信指令課と警防課を統合し、3課となる
通信指令課指令第1係、第2係を警防課指令第1係、第2係に改編する
西・東消防署に救急司令官を設ける
通信司令官を廃止
29. 7 九州北部豪雨による甚大な浸水・土砂の被害が発生し、緊急消防援助隊広島県隊として福岡県朝倉市杷木林田、東峰村へ派遣（7/6～7/25, 49名）
30. 3 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う実施設計策定
30. 4 呉市消防局高機能消防指令センター整備事業事業者選定委員会設置
30. 7 平成30年7月豪雨発生
集中豪雨により、激甚災害の指定及び災害救助法の適用を受ける
緊急消防援助隊島根県隊の派遣を受ける
- 死者29名、負傷者22名、家屋全壊324戸、大規模半壊133戸、半壊766戸、一部損壊1,263戸、床下浸水741戸
30. 9 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に着手
呉市消防局高機能消防指令センター整備事業に着手
31. 3 一般国道185号休山新道4車線化
31. 4 自主防災組織に関する事務を総務部危機管理課へ移譲する
呉市消防団川尻西・東分団が統合し、36分団となる
- 令和1. 5 呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定を締結
2. 2 西消防署に35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配置
2. 3 呉市消防局・西消防署新庁舎供用開始
2. 4 警防課に高度救助隊を発足
音戸消防署を西消防署音戸分署に改編する
西消防署昭和出張所を西消防署昭和分署に改編する
音戸消防署倉橋出張所を西消防署倉橋出張所に改編する
音戸分署、昭和分署に分署長・副分署長を設ける
2. 4 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、全都道府県を対象に緊急事態宣言が発令（4/16～5/14）
新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、各種イベントを中止
3. 4 大張矢林野火災から50年
- 3.10 機能別消防団員制度を導入
4. 1 大規模災害対応訓練施設が完成
4. 3 東広島・呉自動車道阿賀ICの立体化
4. 3 広多賀谷4丁目の呉市一般廃棄物一時保管場所の火災で4,200m³を焼損

消防機関の配置

消 防 管 内 図

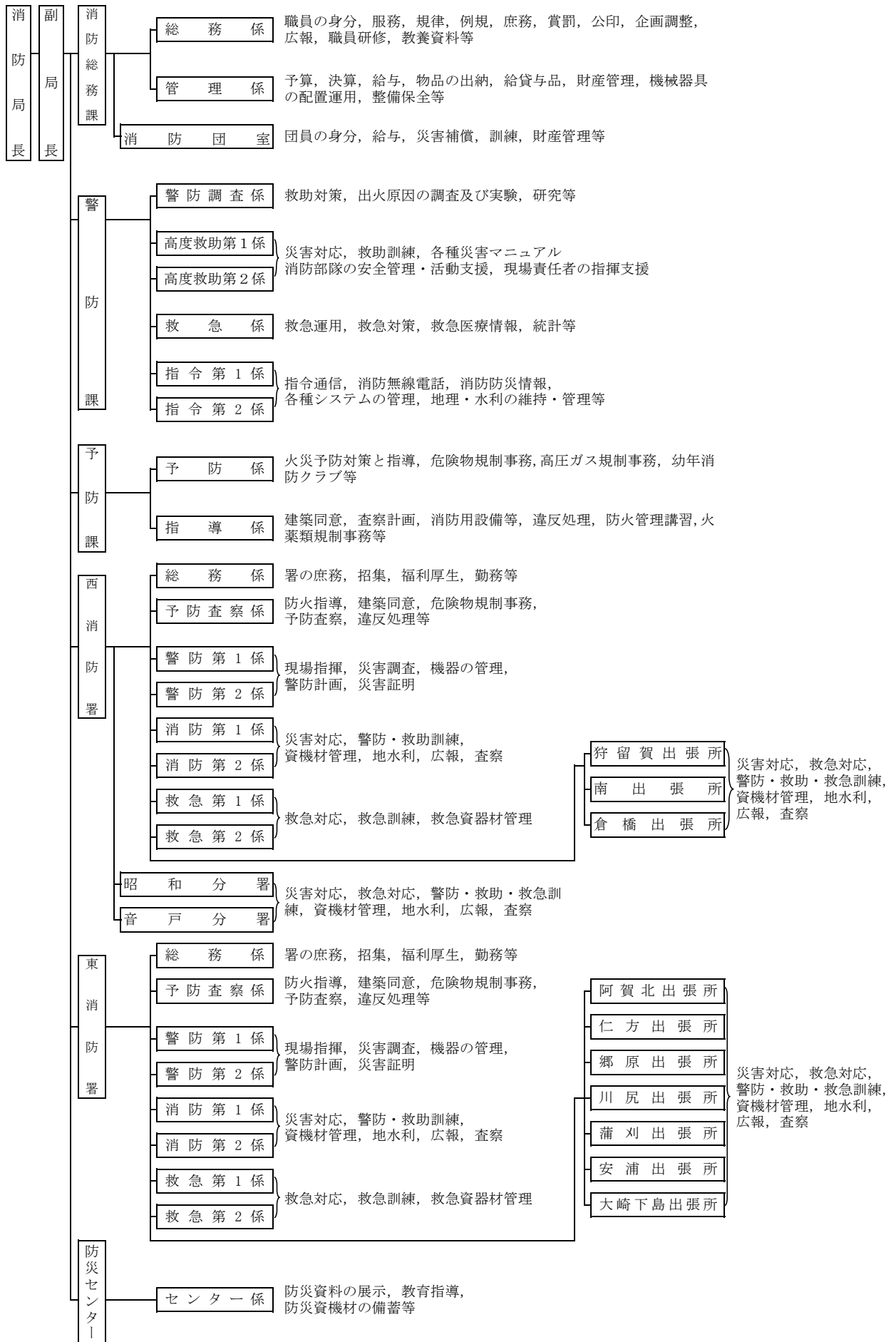


建 物（庁 舎）の 現 況

名 称	位 置	構 造	建築面積㎡	延面積㎡	備 考
消防局・西消防署	呉市西中央3丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨 4階建	1,397.68	3,883.04	地下40トン水槽
主 訓 練 棟	〃 〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨 4階建	53.94	118.19	
副 訓 練 棟	〃 〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨 地下1階地上3階建	78.24	119.38	
昭 和 分 署	〃 焼山中央2丁目8番21号	鉄筋コンクリート4階建	1,560.00	4,380.97 (642.59)	1・2階一部占用
音 戸 分 署	〃 音戸町高須2丁目1番19号	鉄筋コンクリート4階建	424.21	1,198.61	
訓 練 棟	〃 〃	鉄筋コンクリート4階建	23.81	104.81	
狩 留 賀 出 張 所	〃 狩留賀町3番19号	鉄筋コンクリート2階建	356.41	602.76	
南 出 張 所	〃 宮原13丁目2番29号	鉄筋コンクリート2階建	278.03	448.78	
倉 橋 出 張 所	〃 倉橋町1771番地の1	鉄筋コンクリート2階建	373.90	671.69	
東 消 防 署 防 災 セ ン タ ー	〃 広古新開2丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート6階建 一部鉄筋コンクリート2階建	933.90	3,066.60	
訓 練 棟	〃 〃	鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階地上5階建	35.53	190.93	地下80トン水槽
阿 賀 北 出 張 所	〃 阿賀北4丁目3番27号	鉄筋コンクリート2階建	270.53	411.53	
仁 方 出 張 所	〃 仁方本町1丁目6番18号	鉄筋コンクリート 地下1階地上4階	978.76	3,692.19 (246.46)	1階一部占用
郷 原 出 張 所	〃 郷原町7100番地	鉄筋コンクリート2階建	284.84	353.75	
川 尻 出 張 所	〃 川尻町西1丁目1番1号	鉄筋コンクリート3階建	440.66	1,239.82 (385.17)	1階一部占用
蒲 刈 出 張 所	〃 蒲刈町向字小市369番5	鉄筋コンクリート2階建	492.30	592.11	
安 浦 出 張 所	〃 安浦町中央6丁目2番1号	鉄筋コンクリート2階建	316.48	465.02	
大 崎 下 島 出 張 所	〃 豊浜町大字大浜311番地の1	鉄筋コンクリート2階建	311.90	548.71	

() 消防占用部分の床面積㎡

消防組織と事務分掌



令和4年度 呉市消防局運営方針

基本方針

災害に強い、安全・安心なまちづくりの実現を目指し、

「防火・防災体制」 「救急・救助体制」 「消防・組織体制」

の強化に取り組む。

消防局の組織目標		令和4年度の具体的な取組
防火・ 防災体制	I 防火安全対策の推進 (1) 防火・防災対策の推進 (2) 防火査察と違反是正の徹底・強化	(1) 火災予防と危険物施設の保安体制を推進する。 ・ 火災を防止し、火災による死傷者の発生及び財産の損失を低減するための防火指導と火災予防広報の充実 ・ 危険物施設における事故防止・風水害対策の推進 (2) 法令違反による火災危険排除のため、効率・効果的な防火査察の実施 ・ 重大違反対象物の一貫した是正指導、早期是正に向けた適正な違反処理への移行 ・ 査察能力等のスキルアップを図るための職員研修の実施
	II 地域防災力の強化 (1) 消防団の充実強化 (2) 消防署と地域住民等との連携強化	(1) 消防団の資機材、施設、車両装備の機能及び性能を向上させるとともに、消防団員の確保に向けた施策を実施する。 ・ 消防団タブレットの導入(災害時の情報収集と共有、Web会議等) ・ 消防団員教育(運転技術向上訓練等)の実施 ・ 消防団活動PR動画等の作成及び活用(消防局HP・YouTubeへのアップロード等) (2) 自主防災組織等の防災活動に対する積極的な支援及び指導を実施する。 ・ 消防団、自主防災組織、自治会、事業所等との連携強化 ・ 防災センターの有効活用による防災教育の推進及び利用促進に向けた取組の強化 ・ 大規模災害対応訓練施設を活用した市民講習の促進
救急・ 救助体制	III 救急知識の普及・啓発 (1) 救急車適正利用及び予防救急の広報 (2) 応急手当の普及・啓発	(1) 救急車の適正利用及び予防救急について普及・広報を図る。 (2) AEDの取扱方法を含めた心肺蘇生法、その他応急手当の方法など救急知識の普及・啓発を図る。 ・ 児童、生徒に対する応急手当普及啓発の更なる推進
	IV 災害現場での対応力の向上 (1) 高度な技術の習得 (2) 職員の資質向上 (3) 指導救命士制度の運用取組	(1) 専門的かつ高度な技術を身につけるための実践的訓練を実施する。 ・ 指揮訓練、消防救助技術習得訓練等の実践的訓練の実施 ・ 大規模災害対応訓練施設を活用した訓練の実施(消防団、他本部、関係機関との連携訓練を含む。) (2) 各種専門研修の充実及び蓄積した消防知見の伝承教育を実施する。 ・ 機関員の育成及び事故防止対策の徹底 ・ 火災調査能力向上のための職員研修の実施 ・ 呉市消防局大規模災害対応細部計画に基づく災害対応訓練の実施 ・ 警防・救急活動に関する基本訓練の反復 ・ 再任用職員の知識、技術の伝承 (3) 指導救命士制度を効果的に運用する。 ・ 救急救命処置等に係る技術習得訓練、研修会等の実施
消防・ 組織体制	V 消防体制の強化 (1) 消防施設の計画的な管理の推進 (2) 消防組織・体制の強化	(1) 消防施設の総合的かつ計画的な管理を推進する。 ・ 川尻出張所整備の推進 ・ 適正配置の検討 ・ 計画的な維持補修の検討 (2) 将来を見据えた各種計画の見直し、優秀な人材確保及び育成を図る。 ・ 定年延長制度の開始及び第3次呉市職員体制再構築計画の策定に向けた検討 ・ 呉市消防局女性消防吏員活躍推進基本方針に掲げる取組項目の実施 ・ 管内高校、大学等への採用PR活動の実施 ・ 特別地域警防計画の見直し ・ 水災、地震、津波等による大規模災害発生時の消防車両等避難計画の策定 ・ 消防大学校、市町村アカデミー等研修機関への計画的な派遣
	VI 災害活動基盤の充実 (1) 消防車両等整備の推進 (2) 消防水利の維持管理 (3) 消防通信指令業務の充実	(1) 迅速かつ効果的な消防・救急活動を実現するため、消防車両等の整備を推進する。 ・ 消防車両等の適正配置及び整備 ・ 施設、設備、機器等の整備 (2) 大規模災害時等における効果的な消防活動を実現するため、消防水利を維持管理する。 ・ 消防水利整備管理事業計画に基づく消防水利の維持管理 ・ 既設防火水槽の整備 (3) 複雑多様化する災害事案に適切に対応するため、消防通信体制を充実強化する。 ・ ライブ119映像通報システム、ネット119緊急通報システム及び多言語電話通訳サービスの普及・広報 ・ 画像伝送システムを活用した災害時の効果的な運用

組織運営

呉市消防局の「基本方針」及び「組織目標」を達成するため、次のことに重点を置き、組織を運営する。

- (1) **市民の視点**
 - 市民目線で問題を捉え、市民満足度の高い消防サービスの提供
- (2) **公務員倫理の高揚**
 - コンプライアンスを徹底し、市民に信頼され、確実に業務遂行できる消防吏員の育成
 - ハラスメント防止対策の推進
- (3) **安全・衛生管理の徹底**
 - OJTによる経験及び技術の伝承並びにKYTやヒヤリハットによる事故防止の徹底
 - 新型コロナウイルス感染症感染防止対策の徹底による職員の健康管理
 - 職員のメンタルヘルスケア体制の確保
- (4) **職場風土の醸成**
 - 厳正な服務規律の確保(服装の乱れ等)
 - 働き方改革の実践(事務の改善や見直し)、管理監督職員による適正な業務管理(時間外勤務の縮減)など、魅力的な職場づくりの推進

総務

消 防 職 員

消 防 職 員 の 研 修 体 系

消 防 予 算

施 設 整 備

協 定 等 の 締 結 状 況

消 防 職 員

消防職員は、市民の防災の担い手として、住民の生命と生活を守り、安全なまちづくりを目指し、年々複雑多様化するあらゆる災害に対応すべく災害の予防、防除、救急救助等の消防業務に従事しています。

◎ 階級別年齢構成

令和4年4月1日現在

	合 計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
18歳～19歳	12	－	－	－	－	－	－	－	12
20歳～24歳	48	－	－	－	－	－	－	－	48
25歳～29歳	61	－	－	－	－	－	27	－	34
30歳～34歳	56	－	－	－	－	8	38	－	10
35歳～39歳	20	－	－	－	－	13	6	1	－
40歳～44歳	36	－	－	－	8	21	6	1	－
45歳～49歳	61	－	－	－	28	19	13	1	－
50歳～54歳	28	－	－	9	4	10	4	1	－
55歳～59歳	30	1	4	11	2	1	8	3	－
60歳～64歳	27	－	－	－	－	1	20	6	－
合 計	379	1	4	20	42	73	122	13	104

※再任用職員27名を含む。

※平均年齢36.9歳(再任用職員は含まない。)

◎ 勤務年数別職員構成

区 分	職員数(人)	構成率(%)
5年未満	74	21.0%
5年以上10年未満	74	21.0%
10年以上15年未満	45	12.8%
15年以上20年未満	32	9.1%
20年以上25年未満	40	11.4%
25年以上30年未満	48	13.6%
30年以上35年未満	8	2.3%
35年以上	31	8.8%
合 計	352	

※再任用職員27名は含まない。

※構成率は、小数点第2位を四捨五入

◎ 消防職員の配置状況

令和4年4月1日現在

	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	会 計 年 度
合 計	379 〔27〕 (12)	1	4	20 (1)	42	73 〔1〕 (4)	122 〔20〕 (2)	13 〔6〕	104 (5)	6
消 防 局	65 〔1〕 (3)	1	2	9 (1)	14	17 〔1〕 (2)	22	－	－	1
消 防 総 務 課	12 (2)	－	－	3 (1)	5	2 (1)	2	－	－	－
派遣（消防総務課付）	3	－	－	－	－	1	2	－	－	－
警 防 課	40 〔1〕 (1)	－	－	3	8	13 〔1〕 (1)	16	－	－	1
予 防 課	7	－	－	3	1	1	2	－	－	－
西 消 防 署	159 〔12〕 (5)	－	1	7	17	29 (1)	48 〔12〕 (1)	1	56 (3)	1
本 署	57 〔2〕 (4)	－	1	3	9	9	20 〔2〕 (1)	－	15 (3)	1
昭 和 分 署	24 〔2〕	－	－	2	2	3	7 〔2〕	－	10	－
音 戸 分 署	24 〔2〕 (1)	－	－	2	2	5 (1)	7 〔2〕	－	8	－
狩留賀出張所	18 〔2〕	－	－	－	2	4	5 〔2〕	－	7	－
南 出 張 所	18 〔2〕	－	－	－	1	4	5 〔2〕	－	8	－
倉 橋 出 張 所	18 〔2〕	－	－	－	1	4	4 〔2〕	1	8	－
東 消 防 署	155 〔14〕 (4)	－	1	4	11	27 (1)	52 〔8〕 (1)	12 〔6〕	48 (2)	1
本 署	67 〔1〕 (4)	－	1	4	7	10 (1)	21 〔1〕 (1)	－	24 (2)	1
阿賀北出張所	10 〔2〕	－	－	－	－	4	3 〔1〕	1 〔1〕	2	－
仁 方 出 張 所	10 〔2〕	－	－	－	－	2	5 〔1〕	1 〔1〕	2	－
郷 原 出 張 所	10 〔2〕	－	－	－	－	2	4 〔1〕	2 〔1〕	2	－
川 尻 出 張 所	10 〔2〕	－	－	－	－	3	1	4 〔2〕	2	－
蒲 刈 出 張 所	18 〔2〕	－	－	－	2	2	5 〔1〕	3 〔1〕	6	－
安 浦 出 張 所	18 〔3〕	－	－	－	2	2	8 〔3〕	－	6	－
大崎下島出張所	12	－	－	－	－	2	5	1	4	－
防災センター	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3

※注1 〔 〕内は、再任用職員で内数

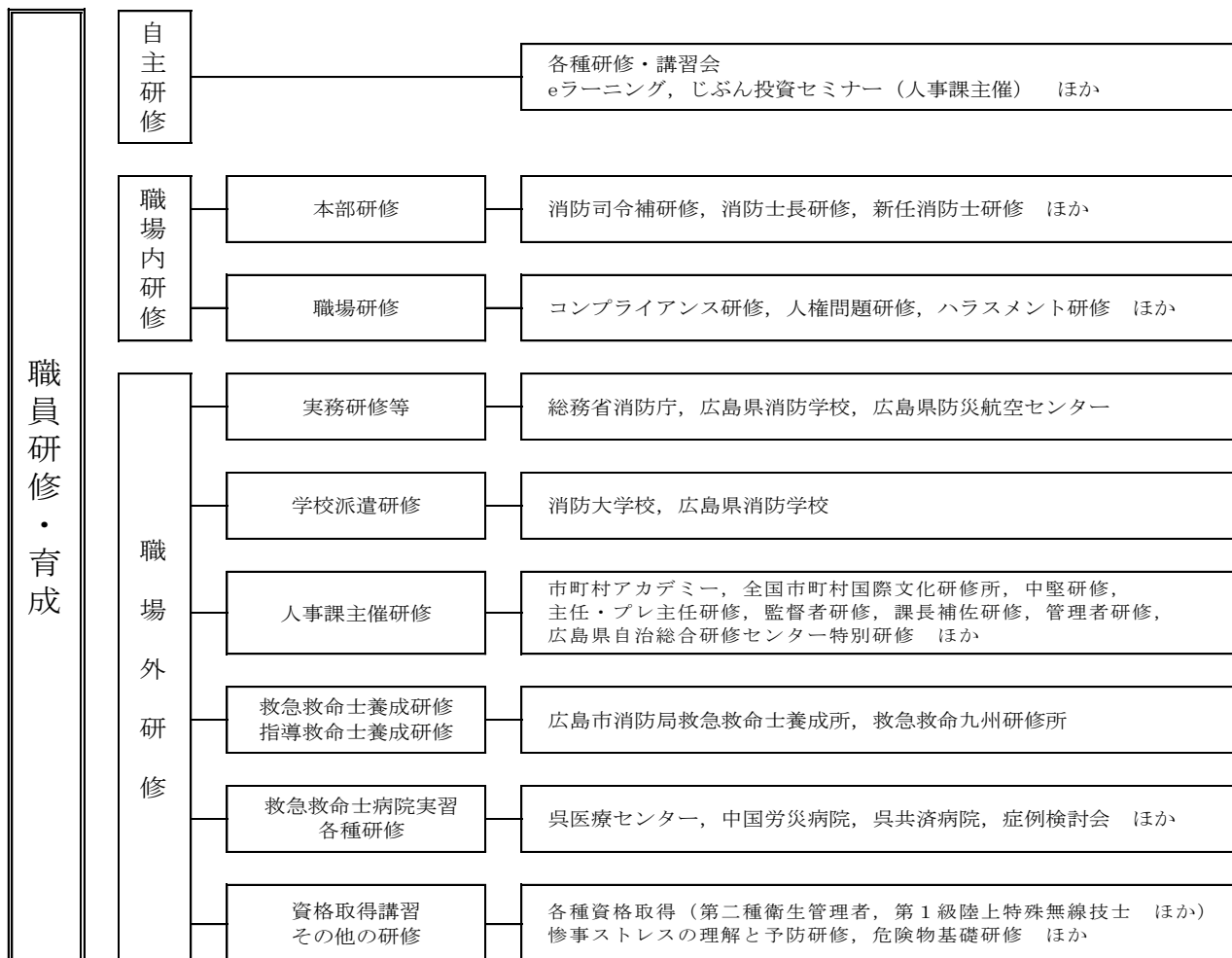
※注2 ()内は、女性職員で内数

消防職員の研修体系

呉市消防局人材育成基本方針の「目指すべき消防職員像」の実現を目指して研修計画を作成し、『自ら育つ、みんなで育てる』を理念として各種研修に取り組んでいます。

◎ 呉市消防局の目指すべき職員像

- (1) 市民の立場で考え行動する職員
- (2) 常に改革・改善に取り組む職員
- (3) 市民に信頼される職員
- (4) 法令を遵守し、規律と礼儀を重んじ、親切・丁寧な対応ができる職員
- (5) 常に学習意欲を持って自己啓発に努め、階級、階層及び立場に応じた高度な専門的知識や能力を持つ職員



◎ 令和3年度 職員研修結果

1 消防大学校【2種・2名】

種	別	期間	人員
幹	部 科	50日	1名
火	災 調 査 科	51日	1名

2 広島県消防学校【10種・61名】

種	別	期間	人員
初	任 教 育	178日	17名
救	助 科	28日	6名
救 急 科	前	53日	12名
	後	53日	13名
危 険	物 科	10日	2名
特 殊	災 害 科	9日	2名
中 級	幹 部 科	12日	2名
救急救命士 教育コース	スキルアップ	5日	2名
	リーダーシップ	5日	2名
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習		1日	2名
多数傷病者訓練指導者育成コース		1日	1名

3 その他の研修【10種・91名】

種	別	期間	人員
公務災害防止研修会		1日	1名
気管挿管病院実習		58日	2名
気管挿管再講習病院実習		8日	4名
再教育病院実習		8日	9名
ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管病院実習		9日	2名
静脈路確保講習会		1日	62名
安全衛生研修会		1日	3名
安全運転管理者法定講習		1日	3名
若手職員連携強化研修会		1日	4名
消防ピアカウンセラー養成講座		1日	1名

4 資格取得講習【10種・21名】

種別	期間	人員
第二種衛生管理者免許	2日	3名
第1級陸上特殊無線技士講習	12日	2名
玉掛技能講習	3日	1名
小型移動式クレーン運転技能講習	3日	1名
酸素欠乏・硫化水素	3日	1名
潜水士	1日	2名
2級小型船舶操縦士講習	3日	2名
救急救命士就業前研修	41日	3名
救急救命士養成受講準備研修	4日	3名
救急救命士養成課程	203日	3名

5 広島県自治総合研修【7種・12名】

種	別	期間	人員
管 理 者	研 修	2日	1名
管 理 者	特 別 研 修	2日	3名
法 制 執 務	研 修	1日	2名
タイムマネジメント	研 修	1日	2名
アサーティブ・コミュニケーション	研 修	1日	1名
クレーム対応	研 修	1日	2名
説明力向上	研 修	1日	1名

6 呉市主催研修【14種・100名】

種	別	期間	人員
新 任	部 長 研 修	1日	2名
副	部 長 研 修	1日	2名
管 理 者	研 修	1日	6名
課 長 補 佐	研 修	1日	7名
監 督 者	研 修	1日	14名
監 督 者 (Ⅱ)	研 修	2日	3名
人 事 考 課 (1次)	研 修	1日	9名
人 事 考 課 (2次)	研 修	1日	6名
主 任 ・ プ レ 主 任	研 修	1日	7名
副 主 任	研 修	1日	1名
中 堅 (Ⅱ)	研 修	1日	12名
行 政 改 革 セ ミ ナ ー		1日	1名
ス キ ル ア ッ プ	研 修	1日	20名
職 場 環 境 改 善	研 修	1日	10名

7 消防主催研修【3種・43名】

種	別	期間	人員
新 任	消 防 士 研 修	2日	17名
消 防 士 長	研 修	2日	12名
消 防 司 令 補	研 修	2日	14名

消 防 予 算

当市における令和4年度一般会計当初予算額は、1,008億300万円で、このうち消防費は、35億3,536万円で構成比は3.5%です。

(単位:千円)

一般会計 予算額	消防費 予算額			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費
100,803,000	3,535,361	3,066,469	235,185	233,707

◎ 過去5年間の予算概要

(単位:円)

年 度	一 般 会 計	消 防 費	構 成 比
平成29年度	98,008,000,000	3,735,155,000	3.8%
平成30年度	98,830,000,000	5,095,871,000	5.2%
令和元年度	100,294,000,000	5,229,512,000	5.2%
令和2年度	100,402,000,000	3,764,468,000	3.7%
令和3年度	97,346,000,000	3,673,021,000	3.8%

施 設 整 備

施設の整備は、年次計画的に鋭意進めています。
令和３年度に実施した整備事業は、次のとおりです。

事 業 名 (事業費:千円)	主 な 事 業 内 容
消防庁舎等整備事業 (29,459)	○大規模災害対応訓練施設整備 ○高度救急訓練用人形購入 ○トイレ洋式化改修 (昭和分署, 狩留賀出張所, 南出張所, 倉橋出張所, 東消防署, 郷原出張所, 大崎下島出張所) ○空調設備改修 (倉橋出張所)
消防車両整備事業 (199,375)	○２Ｂ型救急自動車 (仁方救急１号車) 更新 ○２Ｂ型救急自動車 (川尻救急１号車) 更新 ○救助工作車 (東７号車) 更新 ○多目的車 (くれ２１号車) 更新
消防水利整備事業 (1,869)	○豊町御手洗地区落差式消火栓撤去工事
消防資機材整備事業 (44,627)	○救急車積載用資機材 (仁方救急１号車) １式 ○救急車積載用資機材 (川尻救急１号車) １式 ○防火衣 (更新１８着, 新規１７着) ３５着 ○高圧空気ポンプ １２本 ○消防車積載用ＡＥＤ １台 ○救助工作車用応急処置セット １式 ○超微粒子噴霧装置 (シャットノクサス) ８台 ※超微粒子噴霧装置は令和２年度から繰越
消防団車両等整備事業 (50,122)	○小型動力ポンプ付積載車 ７台 (大和分団, 昭和分団, 郷原分団, 広中央分団, 音戸東分団, 下蒲刈分団, 豊分団)

協定等の締結状況

協 定 名	締結年月日	締 結 機 関	協 定 の 概 要
呉市消防局と呉海上保安部による業務協定	昭和43年 10月1日	呉海上保安部	船舶の火災活動に関する協約 ※ 令和元年5月30日廃止
呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約	昭和45年 9月16日	在日米陸軍	管轄区域内の火災を対象
ガス漏れ及びガス爆発事故防止に関する業務協約	昭和63年 12月1日	広島ガス㈱	ガス災害を未然防止及び災害活動に関する協約
広島県防災ヘリコプター応援協定	平成8年 7月11日	広島県	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定	平成20年 11月18日	今治市	呉市及び今治市の応援実施区域内における救急事案に対する相互応援
広島県内広域消防相互応援協定	平成29年 6月1日	県内全市町 消防組合	協定市町で発生した災害に対する相互応援
広島県内航空消防応援協定	平成29年 9月1日	広島市	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市消防局と呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定	令和元年 5月30日	呉海上保安部	消防活動と海難救助活動に関し、両機関が相互に協力する協約

予 防

予 防 査 察
建 築 物 の 防 火 指 導
火 薬 類 の 規 制
危 険 物 の 規 制
高 圧 ガ ス の 保 安
消 防 ク ラ ブ
防 災 セ ン タ ー

予 防 査 察

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の現況

令和4年3月31日現在

政令区分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	6	3	3
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	150	71	79
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー	-	-	-
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	15	13	2
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等	-	-	-
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3	2	1
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	4	4	-
	ロ	飲 食 店	81	53	28
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	229	112	117
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	103	52	51
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	1,651	835	816
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	144	77	67
	ロ	福 祉 施 設 ・ 救 護 施 設	89	53	36
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	151	85	66
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	42	20	22
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 ・ 各 種 学 校	274	131	143
8		図 書 館 ・ 博 物 館	17	11	6
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	-	-	-
	ロ	そ の 他 の 公 衆 浴 場	8	5	3
10		停 車 場 ・ 栈 橋	2	1	1
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	83	61	22
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	1,004	370	634
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	-	-	-
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	135	79	56
	ロ	飛 行 機 ・ 回 転 翼 航 空 機 の 格 納 庫	-	-	-
14		倉 庫	440	196	244
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 場	625	361	264
16	イ	特 定 用 途 の 複 合 対 象 物	688	476	212
	ロ	そ の 他 の 複 合 対 象 物	550	366	184
16の2		地 下 街	-	-	-
16の3		準 地 下 街	-	-	-
17		重 要 文 化 財	13	5	8
18		延 長 50m 以 上 の ア ー ケ ード	6	6	-
19		山 林	-	-	-
20		舟 車	-	-	-
合 計			6,513	3,448	3,065

◎ 防火管理者を必要とする対象物の現況

令和4年3月31日現在

政令区分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	5	3	2
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	136	64	72
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー	－	－	－
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	15	13	2
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等	－	－	－
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2	1	1
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	4	4	－
	ロ	飲 食 店	69	48	21
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	161	79	82
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	40	23	17
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	363	224	139
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	50	32	18
	ロ	福 祉 施 設 ・ 救 護 施 設	53	30	23
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	92	54	38
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	20	15	5
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 ・ 各 種 学 校	79	38	41
8		図 書 館 ・ 博 物 館	15	10	5
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	－	－	－
	ロ	そ の 他 の 公 衆 浴 場	3	1	2
10		停 車 場 ・ 栈 橋	－	－	－
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	46	34	12
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	85	48	37
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	－	－	－
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	2	－	2
	ロ	飛 行 機 ・ 回 転 翼 航 空 機 の 格 納 庫	－	－	－
14		倉 庫	6	2	4
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 場	200	145	55
16	イ	特 定 用 途 の 複 合 対 象 物	503	361	142
	ロ	そ の 他 の 複 合 対 象 物	134	90	44
16の2		地 下 街	－	－	－
16の3		準 地 下 街	－	－	－
17		重 要 文 化 財	3	1	2
18		延 長 50m 以 上 の ア ー ケ ード	－	－	－
19		山 林	－	－	－
20		舟 車	－	－	－
合 計			2, 086	1, 320	766

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の査察実施状況

令和3年度

政令区分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	2	2	-
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	42	14	28
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー	-	-	-
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	7	7	-
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等	-	-	-
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	1	-
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	1	1	-
	ロ	飲 食 店	10	6	4
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	87	43	44
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	34	21	13
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	226	91	135
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	32	22	10
	ロ	福 祉 施 設 ・ 救 護 施 設	48	33	15
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	63	38	25
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	6	4	2
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 ・ 各 種 学 校	64	14	50
8		図 書 館 ・ 博 物 館	3	1	2
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	-	-	-
	ロ	そ の 他 の 公 衆 浴 場	2	1	1
10		停 車 場 ・ 栈 橋	-	-	-
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	6	4	2
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	190	56	134
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	-	-	-
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	21	8	13
	ロ	飛 行 機 ・ 回 転 翼 航 空 機 の 格 納 庫	-	-	-
14		倉 庫	85	28	57
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 場	87	34	53
16	イ	特 定 用 途 の 複 合 対 象 物	187	142	45
	ロ	そ の 他 の 複 合 対 象 物	72	53	19
16の2		地 下 街	-	-	-
16の3		準 地 下 街	-	-	-
17		重 要 文 化 財	3	1	2
18		延 長 50m 以 上 の ア ー ケ ード	1	1	-
19		山 林	-	-	-
20		舟 車	-	-	-
合 計			1, 280	626	654

建築物の防火指導

◎ 建築同意の状況

令和3年度

種 別 署 別	合 計			一 般 住 宅			そ の 他		
	受 付 件 数	同 意 件 数	不同意 件 数	受 付 件 数	同 意 件 数	不同意 件 数	受 付 件 数	同 意 件 数	不同意 件 数
合 計	248	248	-	146	146	-	102	102	-
予 防 課	8	8	-	-	-	-	8	8	-
西 消 防 署	146	146	-	93	93	-	53	53	-
東 消 防 署	94	94	-	53	53	-	41	41	-

◎ 消防用設備等の届出状況

令和3年度

区 分		署 別	合 計	予防課	西消防署	東消防署
工事整備対象 設備等着工届	新 築		59	7	29	23
	増改築		179	7	84	88
消防用設備等 免除申請書	新 築		19	-	11	8
	増改築		46	2	16	28
消防用設備等 設 置 届	新 築		21	1	4	16
	増改築		152	2	92	58
防火対象物 使 用 届	新 築		35	3	18	14
	増改築		186	-	89	97

◎ 違反処理状況

年度	公表	警告	命令
平成30年度	8	2	1
令和元年度	6	1	-
令和2年度	-	4	4
令和3年度	1	2	-

◎ 届出対象物の現況

令和4年3月31日現在

種 別	署 別	合 計	西消防署	東消防署
炉 ・ 温 風 暖 房 機		265	148	117
厨 房 設 備		20	7	13
ボ イ ラ ー		628	323	305
乾 燥 設 備		135	68	67
サ ウ ナ 設 備		31	22	9
ヒートポンプ冷暖房機		6	5	1
火 花 を 生 ず る 設 備		1	-	1
放 電 加 工 機		7	6	1
変 電 設 備		2,072	1,159	913
急 速 充 電 設 備		-	-	-
発 電 設 備		358	200	158
燃 料 電 池 発 電 設 備		-	-	-
蓄 電 池 設 備		396	235	161
ネ オ ン 管 灯 設 備		23	20	3
貯蔵取扱所	少 量 危 険 物	909	476	433
	指 定 可 燃 物	189	49	140
	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス	43	20	23
	無 水 硫 酸	3	-	3
	液 化 石 油 ガ ス	845	427	418
	生 石 灰	18	14	4
	毒 物	-	-	-
所	劇 物	30	15	15
	合 計	5,979	3,194	2,785

◎ 届出対象物の査察実施状況

令和3年度

種 別	署 別	合 計	西消防署	東消防署
炉 ・ 温 風 暖 房 機		23	12	11
厨 房 設 備		1	1	-
ボ イ ラ ー		129	75	54
乾 燥 設 備		23	12	11
サ ウ ナ 設 備		5	4	1
ヒートポンプ冷暖房機		-	-	-
火 花 を 生 ず る 設 備		-	-	-
放 電 加 工 機		4	4	-
変 電 設 備		337	164	173
急 速 充 電 設 備		-	-	-
発 電 設 備		76	45	31
燃 料 電 池 発 電 設 備		-	-	-
蓄 電 池 設 備		27	13	14
ネ オ ン 管 灯 設 備		11	11	-
貯蔵取扱所	少 量 危 険 物	114	52	62
	指 定 可 燃 物	14	2	12
	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス	12	-	12
	無 水 硫 酸	4	4	-
	液 化 石 油 ガ ス	113	52	61
	生 石 灰	-	-	-
	毒 物	-	-	-
所	劇 物	1	-	1
	合 計	894	451	443

◎ 各種届出書等の受理状況

令和3年度

[illegible]

◎ 防火対象物定期点検報告と特例認定状況

令和3年度

区分	署 別	合 計	西消防署	東消防署
防火対象物定期点検報告		119	66	53
防火対象物特例認定の認定数		30	24	6

◎ 防災管理者の選任届・自衛消防組織届出現況

令和4年3月31日現在

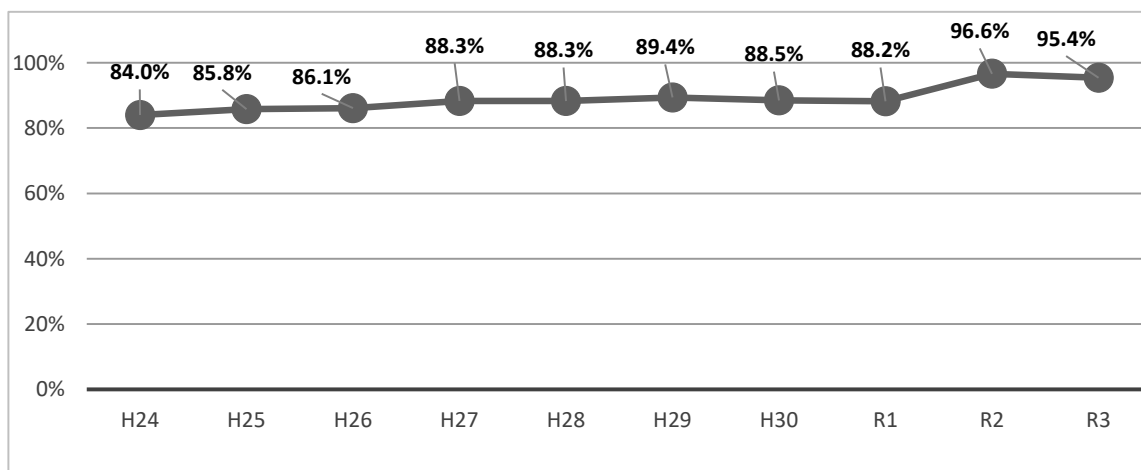
区分	署 別	合 計	西消防署	東消防署
防災管理者選任届出数		21	12	9
自衛消防組織設置届出数		21	12	9

◎ 中高層建築物の現況（消防用設備等を必要とするもの）

令和4年3月31日現在

階 数	署 別	合 計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階
合 計		2,789	1,084	797	407	128	87	74	44	45	30	26	15	35	16	1
西 消 防 署		1,739	540	535	293	104	56	56	34	36	20	20	5	25	14	1
東 消 防 署		1,050	544	262	114	24	31	18	10	9	10	6	10	10	2	-

◎ 住宅用火災警報器の設置率



※ 調査方法が無作為抽出方式のため、設置率が減少する場合があります。

火薬類の規制

◎ 火薬類関係事業所数

令和4年3月31日現在

区 分	種 類 別	事 業 所 数
火 薬 類 製 造	産 業 火 薬	—
	煙 火	—
	小 計	—
火 薬 類 販 売	産 業 火 薬 類	3
	実包及び猟用火薬類	—
	建設用鋸打銃用空包	—
	船 舶 用 火 工 品	1
	煙 火	—
	競 技 用 紙 雷 管	2
	小 計	6
合 計		6

◎ 火薬類関係貯蔵箇所数

令和4年3月31日現在

種 類 別	業 種 別	所 有 者 数	棟 数	うち休止棟数
1 級 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
	火 薬 類 販 売	2	4	—
	建 設	—	—	—
	採 石	—	—	—
	鋳 業	—	—	—
	小 計	2	4	—
2 級 火 薬 庫	建 設	—	—	—
3 級 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
	火 薬 類 販 売	—	—	—
	そ の 他	—	—	—
	小 計	—	—	—
水 蓄 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
実 包 火 薬 庫	火 薬 類 販 売	—	—	—
煙 火 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
	火 薬 類 販 売	1	1	—
	そ の 他	—	—	—
	小 計	1	1	—
合 計		3	5	—
火 薬 庫 外 貯 蔵 所	火 薬 類 販 売	2	2	
	建 設	—	—	
	採 石	—	—	
	そ の 他	3	3	
	合 計	5	5	

◎ 火薬類許可件数

令和3年度

許 可 区 分			許 可 件 数
譲 渡	目的	残 火 薬 の 処 分	-
		そ の 他	-
	小 計		-
譲 受 (注 1)	目的	建 設 工 事	-
		採 石	-
		鉱 業	-
		そ の 他	1
	小 計		1
譲 受 ・ 消 費 (注 2)	目的	建 設 工 事	3
		採 石	3
		そ の 他	-
	小 計		6
消 費 (注 3)	目的	建 設 工 事	-
		採 石	-
		そ の 他	-
	小 計		-
そ の 他 許 可	煙 火 等 製 造		-
	製 造 施 設 変 更		-
	火 薬 類 販 売		-
	火 薬 庫 設 置 ・ 移 転		-
	火 薬 庫 変 更		-
	煙 火 消 費		8
	廃 棄		-
	輸 入		-
	小 計		8
合 計			15

注1 「譲受」は譲受についてのみの許可

注2 「譲受・消費」は消費の許可とあわせて譲受の許可を行ったもの

注3 「消費」は消費についてのみの許可（煙火消費許可を除く。）

◎ 火薬庫保安検査実施棟数

令和3年度

種類別	1級	2級	3級	水蓄	実包	煙火	合計
実施棟数	4	—	—	—	—	1	5

◎ 火薬類立入検査実施件数

令和3年度

業種別 区 分	消費 場所	火薬庫 (棟数)	火薬庫外 貯蔵所	製造所	販売所	合計
火薬類製造販売	—	5	2	—	6	13
建 設	—	—	—	—	—	—
採 石	1	—	—	—	—	1
その他	8	—	3	—	—	11
合計	9	5	5	—	6	25

◎ 火薬類届出状況

令和3年度

項 目	届出件数
火 薬 類 取 扱 保 安 責 任 者 等 選 任 ・ 解 任 届	3
許 可 申 請 書 等 記 載 事 項 変 更 報 告 （ 届 出 ） 書	—
廃 止 届	—
貯 蔵 火 薬 類 等 変 更 届 （ 火 薬 庫 ）	2
貯 蔵 火 薬 類 等 変 更 届 （ 火 薬 庫 外 ）	2
火 薬 庫 継 承 届	—
使 用 休 止 届	—
軽 微 変 更 届	—
そ の 他	18
合 計	25

危険物の規制

◎ 危険物施設現況

令和4年3月31日現在

署 別 区 分	合 計	西消防署	東消防署
屋 内 貯 蔵 所	107	60	47
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	60	36	24
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	15	11	4
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	69	42	27
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	6	2	4
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	64	30	34
屋 外 貯 蔵 所	24	20	4
給 油 取 扱 所	83	37	46
第 1 種 販 売 取 扱 所	2	1	1
第 2 種 販 売 取 扱 所	1	1	－
移 送 取 扱 所	3	3	－
一 般 取 扱 所	120	77	43
合 計	554	320	234

◎ 危険物施設査察実施状況

令和3年度

署 別 区 分	合 計	西消防署	東消防署
屋 内 貯 蔵 所	25	13	12
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	8	－	8
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	3	3	－
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	25	16	9
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	4	－	4
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	51	25	26
屋 外 貯 蔵 所	3	1	2
給 油 取 扱 所	54	28	26
第 1 種 販 売 取 扱 所	1	1	－
第 2 種 販 売 取 扱 所	1	1	－
移 送 取 扱 所	－	－	－
一 般 取 扱 所	26	11	15
合 計	201	99	102

◎ 危険物関係事務処理状況

令和3年度

区 分		所 管 別			
		合 計	予防課	西消防署	東消防署
許 可	設 置	10	10		
	変 更	28	8	11	9
完 成 検 査	設 置	6	6		
	変 更	28	8	11	9
仮 使 用 承 認		24	7	11	6
予 防 規 程 認 可		8	1	1	6
タ ン ク 検 査		25	-	1	24
仮貯蔵・仮取扱承認		7	-	3	4
届 出 処 理	譲 渡 引 渡	18	1	17	-
	品 名・数 量・ 指定数量の倍数変更	11	2	1	8
	廃 止	37	34	-	3
	災 害（事故）発生届	8	-	7	1
	保安監督者選任・解任	48	15	11	22
	休 止 ・ 再 開	5	-	5	-
	軽 微 な 変 更 ・ 規 制 外 の 変 更	64	15	31	18
	消防用設備等着工届	1	-	-	1
	設 置 者 変 更	50	2	29	19
	管 理 者 変 更	15	-	6	9
そ の 他		5	-	3	2
総 事 務 処 理 件 数		398	109	148	141

高圧ガスの保安

◎高圧ガス事業所の現況

令和4年3月31日現在

第一種製造者	第二種製造者	販売業者	第一種貯蔵所	第二種貯蔵所	特定高圧ガス消費者
37	310	131	12	28	32

◎高圧ガス保安法事務処理状況

令和3年度

区 分	件 数	区 分	件 数
高 圧 ガ ス 製 造 許 可 申 請	1	貯 蔵 所 廃 止 届	2
高 圧 ガ ス 製 造 事 業 届	10	高 圧 ガ ス 販 売 廃 止 届 書	1
許 可 の 取 消 し	-	高 圧 ガ ス 製 造 施 設 休 止 届	-
製 造 事 業 者 承 継 届	3	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届	2
高圧ガス製造施設等変更許可申請	-	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者 承 継 届	2
高圧ガス製造施設軽微変更届	14	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 設 備 等 変 更 届	1
高圧ガス製造施設等変更届	-	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 廃 止 届	1
第一種貯蔵所設置許可申請	-	危 害 予 防 規 程 届	6
第 一 種 貯 蔵 所 承 継 届	-	保安統括者，保安技術管理者， 保安係員，保安監督者選・解任届	11
第 二 種 貯 蔵 所 設 置 届	2		
第一種貯蔵所位置等変更許可申請	-	保安統括者代理者選・解任届	4
第一種貯蔵所軽微変更届	-	保 安 主 任 者 保安企画推進員選・解任届	-
第二種貯蔵所位置等変更届	2		
製 造 施 設 完 成 検 査 申 請	1	冷 凍 保 安 責 任 者 選 ・ 解 任 届	-
第一種貯蔵所完成検査申請	-	冷 凍 保 安 責 任 者 代 理 者 選 ・ 解 任 届	-
指定完成検査機関完成検査受検届	-	販 売 主 任 者 選 ・ 解 任 届	3
高圧ガス保安協会完成検査受検届	-	特 定 高 圧 ガ ス 取 扱 主 任 者 選 ・ 解 任 届	7
認定完成検査実施者完成検査届	-	保 安 検 査 （ 消 防 局 実 施 ）	7
高 圧 ガ ス 販 売 事 業 届	5	高 圧 ガ ス 保 安 協 会 保 安 検 査 受 検 届	3
高 圧 ガ ス 販 売 事 業 承 継 届	-	指 定 保 安 検 査 機 関 保 安 検 査 受 検 届	15
販売に係る高圧ガスの種類変更届	-	緊 急 停 止 命 令	-
高 圧 ガ ス 製 造 開 始 届	1	事 故 届	1
製 造 者 廃 止 届	20	合 計	125

消防クラブ

少年消防クラブ（B.F.C）は、昭和25年に消防庁がその結成を呼び掛けたのが始まりで、当時は呉市立三坂地小学校や二河中学校（現：呉中央中学校）など25校にクラブが結成されました。現在では民間防火組織の結成指導に呼応して、昭和56年11月呉市警固屋地区子ども会連合会（現：警固屋子ども会）に少年消防クラブが結成されたのに続いて、幼年消防クラブ10団体、女性防火クラブ1団体の合計12団体が結成されています。

1 幼年消防クラブ

令和4年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
中新開子ども会幼年消防クラブ	昭和56年12月6日	17
焼山めいわ保育園幼年消防クラブ	平成4年11月5日	41
仁方こども園幼年消防クラブ	平成7年2月24日	57
明德保育所幼年消防クラブ	平成7年7月13日	12
なぎさ音戸保育園幼年消防クラブ	令和3年4月1日	17
名田保育園幼年消防クラブ	平成10年2月15日	57
認定こども園せいらんじ幼年消防クラブ	平成10年6月21日	197
昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ	平成10年10月19日	42
横路保育所幼年消防クラブ	平成14年6月21日	57
きらきら音戸保育園幼年消防クラブ	平成20年7月2日	48

2 少年消防クラブ

令和4年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
警固屋子ども会少年消防クラブ	昭和56年11月29日	60

3 女性防火クラブ

令和4年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
女子畑女性防火クラブ	平成17年4月1日	26

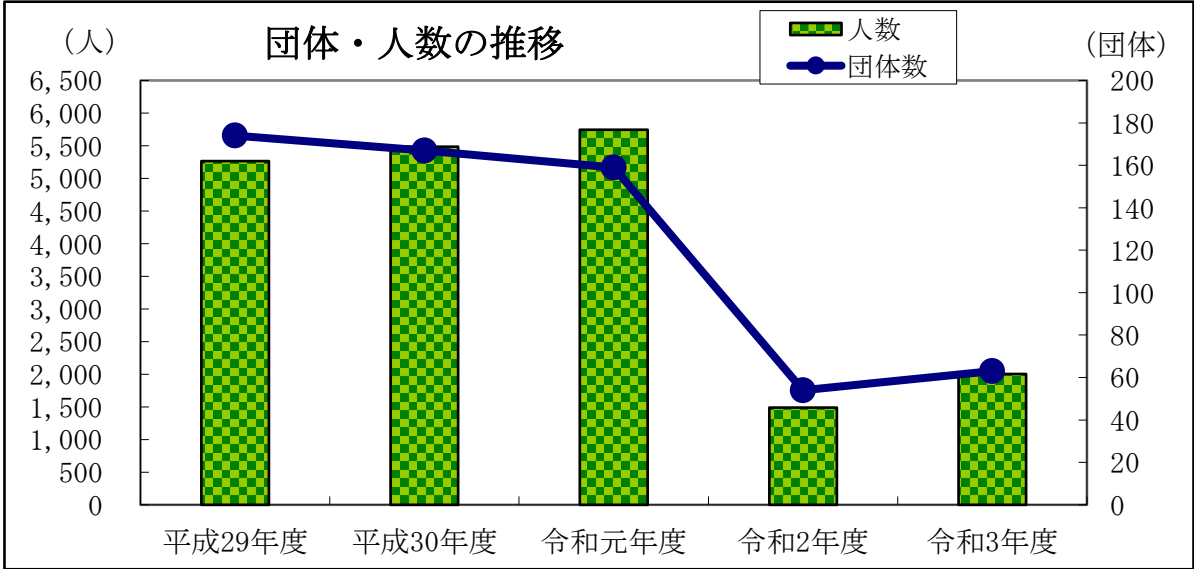
防災センター

呉市防災センターは、市民の防災に関する知識及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図ることを目的とし、昭和60年12月に設置しました。

防災センターの入館状況は、令和3年度中に63団体、利用者は個人を含めて2,006人であり、その内訳は次のとおりです。

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
個人	大人	人 数	299	197	138	92	60
	子供		268	302	255	83	40
	小計		567	499	393	175	100
団体	自治会・自主防災会	団 体 数	2	4	4	2	－
		人 数	64	209	82	29	－
	子 供 会	団 体 数	5	1	－	－	－
		人 数	156	38	－	－	－
	学 校	団 体 数	23	27	32	9	10
		人 数	1,230	1,525	2,091	364	641
	保 育 所 ・ 幼 稚 園	団 体 数	32	28	23	15	15
		人 数	1,161	1,066	865	531	519
	防 火 ク ラ ブ 等	団 体 数	5	5	6	4	4
		人 数	142	143	173	131	160
	事 業 所	団 体 数	53	71	12	7	11
		人 数	916	1,269	224	36	184
	救 急 講 習 会	団 体 数	24	15	15	8	5
		人 数	398	270	358	54	68
	外 国 人 研 修 ※	団 体 数	－	－	－	3	－
		人 数	－	－	－	22	－
	そ の 他	団 体 数	30	16	67	6	18
		人 数	632	468	1,561	148	334
	小 計	団 体 数	174	167	159	54	63
		人 数	4,699	4,988	5,354	1,315	1,906
総 計		団 体 数	174	167	159	54	63
		人 数	5,266	5,487	5,747	1,490	2,006

※令和2年度から外国人研修に変更。令和元年度以前は、防火管理講習。



◎ 施設の内容

(1) 展示室・事務室（3階）



受付及び事務室



インフォメーション



消防知識Q & A
昔の消防器具コーナー



地震体験シミュレーション



煙中体験コーナー



消火シミュレーション



ホテル火災
シミュレーション



防災用品展示コーナー



呉市の防災体制コーナー



豪雨・暴風疑似体験学習コーナー

- (2) 教 室（3階） 防火講座・座談会などを開きます。
- (3) ビデオ室（4階） ビデオプロジェクターで視覚的な学習を行います。
- (4) 実 習 室（4階） 危険物の燃焼・爆発などの実験を行います。
- (5) 大 教 室（5階） 防災講演・講習会等多目的に活用します。

防 警

火
出
救
救
救
消
消
消

火
急
防
防
防

原
隊
支
水
機
通

災
因
急
援
助
利
械
信

火 災

令和3年中に管内で発生した火災は60件で、前年と比較して4件減少しました。

被害状況は、死者2名、負傷者6名、火災損害額29,196千円、建物焼損床面積704㎡となっています。

前年に比べると、火災損害額は53,893千円減少、死者は1名減少、負傷者は5名減少となっています。

約6日に1件の割合で火災が発生し、1件当たりの損害額は約487千円となっています。

◎ 火災概況

(令和3年中)

区 分		呉 市
火 災 発 生 件 数 (件)		60
建 物 火 災 件 数 (件)		34
建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)		704
焼 損 棟 数 (棟)		48
火 災 損 害 額 (千 円)		29,196
建 物 火 災 損 害 額 (千 円)		26,838
り 災 世 帯 (世 帯)		31
り 災 人 員 (人)		57
死 者 (人)		2
負 傷 者 (人)		6
1 日 平 均	出 火 件 数 (件)	0.16
	損 害 額 (千 円)	80
	建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)	1.93
	焼 損 棟 数 (棟)	0.13
火 災 1 件 当 た り の 損 害 額 (千 円)		487
建 物 火 災 1 件 当 た り の 損 害 額 (千 円)		789



出火原因

令和３年中の出火原因は「たき火」が１３件で第１位、「たばこ」が８件で第２位、「放火」が６件で第３位、「こんろ」「電気装置」「電灯・電話等の配線」がともに３件で第４位となっています。

◎ 過去10年間の火災の主な出火原因

(各年中)

年 別	順位 区分	合計	1位	2位	3位	4位	5位	その他
平成24年	原 因		たき火	放火	たばこ	配線器具類	こんろ	
	件 数	98	15	13	13	6	6	45
	(比 率)		(15.3%)	(13.3%)	(13.3%)	(6.1%)	(6.1%)	(45.9%)
平成25年	原 因		たき火	たばこ	放火	風呂かまど	こんろ	
	件 数	84	23	10	5	5	4	37
	(比 率)		(27.4%)	(11.9%)	(6.0%)	(6.0%)	(4.8%)	(44.0%)
平成26年	原 因		たき火	たばこ	ストーブ	交通機関内配線	こんろ	
	件 数	67	14	10	6	4	3	30
	(比 率)		(20.9%)	(14.9%)	(9.0%)	(6.0%)	(4.5%)	(44.8%)
平成27年	原 因		放火	たき火	たばこ	配線器具類	その他の火花	
	件 数	91	24	18	10	5	4	30
	(比 率)		(26.4%)	(19.8%)	(11.0%)	(5.5%)	(4.4%)	(33.0%)
平成28年	原 因		たき火	放火	たばこ	その他の火花	こんろ	
	件 数	72	14	8	6	4	3	37
	(比 率)		(19.4%)	(11.1%)	(8.3%)	(5.6%)	(4.2%)	(51.4%)
平成29年	原 因		たばこ	たき火	放火	天ぷら油	その他の火花	
	件 数	49	7	6	4	2	2	28
	(比 率)		(14.3%)	(12.2%)	(8.2%)	(4.1%)	(4.1%)	(57.1%)
平成30年	原 因		たき火	たばこ	放火	配線器具類	こんろ	
	件 数	59	12	9	7	6	4	21
	(比 率)		(20.3%)	(15.3%)	(11.9%)	(10.2%)	(6.8%)	(35.6%)
令和元年	原 因		たばこ	たき火	こんろ	放火	ストーブ	
	件 数	75	13	9	5	3	3	42
	(比 率)		(17.3%)	(12.0%)	(6.7%)	(4.0%)	(4.0%)	(56.0%)
令和２年	原 因		たき火	たばこ	放火	こんろ	焼却炉	
	件 数	64	17	8	4	3	3	29
	(比 率)		(26.6%)	(12.5%)	(6.3%)	(4.7%)	(4.7%)	(45.3%)
令和３年	原 因		たき火	たばこ	放火	こんろ	電気装置	
	件 数	60	13	8	6	3	3	27
	(比 率)		(21.7%)	(13.3%)	(10.0%)	(5.0%)	(5.0%)	(45.0%)

※ 「その他」は、上位５位以外の総件数を示しています。

◎ 出火原因別の月別火災件数

(令和3年中)

原 因 別	月 別 件 数												
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
たき火	13	1	2	2	-	-	3	-	1	-	2	1	1
たばこ	8	1	1	2	-	-	3	-	-	-	1	-	-
放火	6	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	1	-
こんろ	3	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
電気装置	3	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
電灯・電話等の配線	3	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
ストーブ	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
火遊び	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	15	1	1	2	1	-	1	2	1	1	1	1	3
不明	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	60	8	5	8	3	2	7	4	4	6	6	3	4
令和2年中	64	6	9	6	5	8	5	1	3	2	6	6	7

※ 原因別のその他とは、上位10位及び不明以外の総件数です。

◎ 出火原因別の火災状況

(令和3年中)

原因別	火災種別(件)							焼損面積		死傷者(人)		損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
たき火	13	4	1	-	-	-	8	43	13	-	-	4,577
たばこ	8	6	-	-	-	-	2	237	-	-	1	6,655
放火	6	6	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1,989
こんろ	3	3	-	-	-	-	-	8	-	-	2	633
電気装置	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1,683
電灯・電話等の配線	3	1	-	-	-	-	2	37	-	1	-	3,911
ストーブ	2	2	-	-	-	-	-	148	-	-	2	2,988
灯火	2	2	-	-	-	-	-	93	-	1	-	1,111
火遊び	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
排気管	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	43
その他	15	5	-	3	-	-	7	8	-	-	1	1,182
不明	1	1	-	-	-	-	-	186	-	-	-	4,420
合計	60	34	1	5	-	-	20	764	13	2	6	29,196
令和2年中	64	31	2	3	2	-	26	1,266	18	3	11	83,089

※ 原因別のその他とは、上位10位及び不明以外の総件数です。

◎ 用途別・原因別火災概況

(令和3年中)

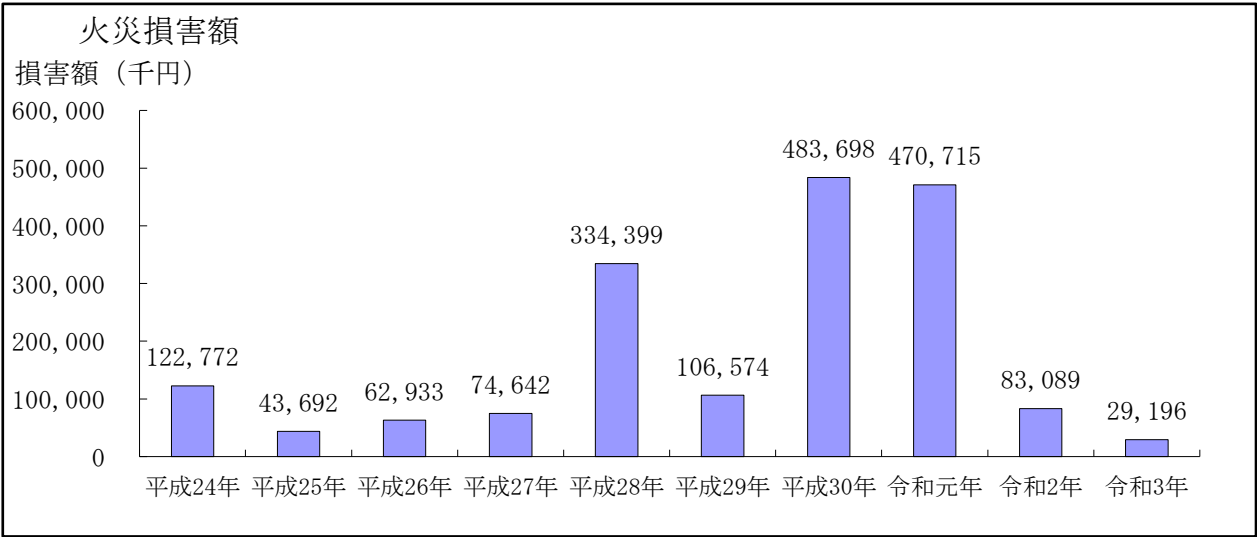
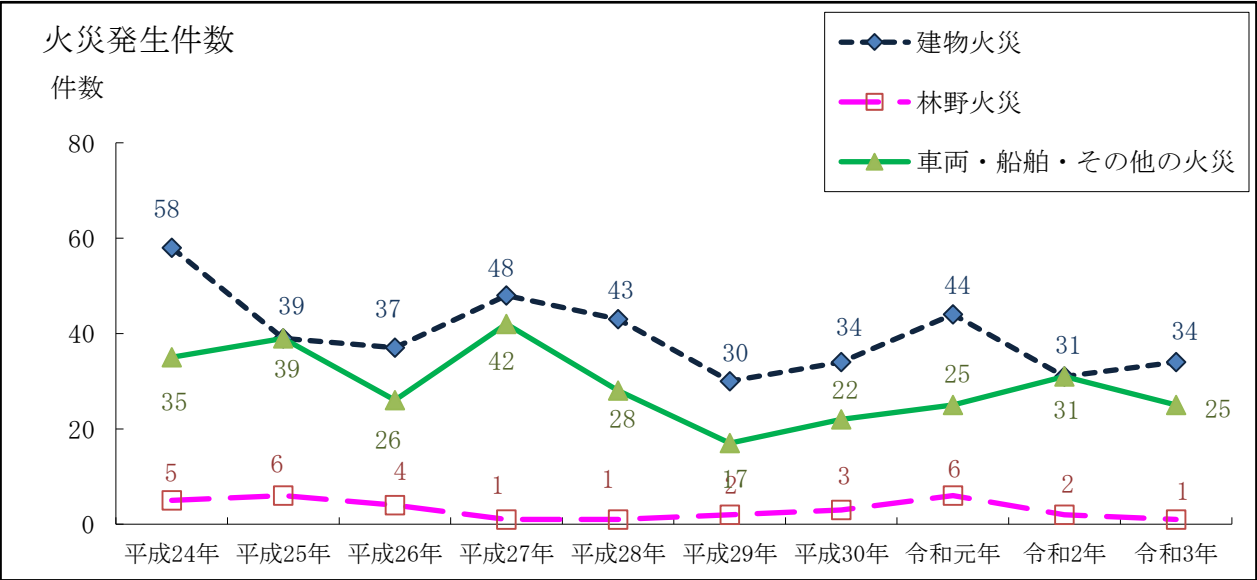
原因別	建築物火災												林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	その 他 の 火 災	総 合 計
	住 宅 関 係				住 宅 関 係 以 外												
	一般住宅	共同住宅	併用住宅	小計	空家	工場・作業場	車庫・倉庫	事務所	複合用途建物	その他	小計	合計					
たき火	-	-	1	1	-	-	2	-	-	1	3	4	1	-	-	8	13
たばこ	3	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2	8
放火	5	-	-	5	-	-	1	-	-	-	1	6	-	-	-	-	6
こんろ	1	1	-	2	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-	-	-	3
電気装置	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	3
電灯・電話等の配線	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	3
ストーブ	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
灯火	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
火遊び	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	2
排気管	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	2
その他	1	-	-	1	-	2	1	-	1	-	4	5	-	3	-	7	15
不明	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
合 計	15	5	2	22	-	4	4	-	2	2	12	34	1	5	-	20	60
令和2年中	13	5	-	18	-	8	2	-	-	3	13	31	2	3	2	26	64

※ 原因別のその他とは、上位10位及び不明以外の総件数です。

◎ 過去10年間の火災の推移

(各年中)

年 別	火 災 件 数			建物焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死傷者 (人)	
	合 計	建物火災	建物火災 以 外			死 者	負傷者
平 成 24 年	98	58	40	3,015	122,772	5	8
平 成 25 年	84	39	45	921	43,692	－	13
平 成 26 年	67	37	30	1,477	62,933	3	17
平 成 27 年	91	48	43	1,322	74,642	2	9
平 成 28 年	72	43	29	5,049	334,399	－	9
平 成 29 年	49	30	19	1,237	106,574	2	1
平 成 30 年	59	34	25	3,267	483,698	2	3
令 和 元 年	75	44	31	2,224	470,715	6	12
令 和 2 年	64	31	33	1,091	83,089	3	11
令 和 3 年	60	34	26	704	29,196	2	6



◎ 主な火災

(令和3年中)

出火日時			場 所	火災種別	火元焼損棟				損害額 (千円)	死者	出動
月	日	曜日			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			
1	5	火	阿賀南9丁目	建物	1				4,420	-	第1
2	4	木	川尻町森2丁目	建物		1			3,677	1	第1
2	13	土	安浦町三津口5丁目	林野					-	-	第2
3	17	水	天応大浜2丁目	建物	1				3,358	-	第1
5	4	火	吉浦中町2丁目	建物	1				1,107	1	第1
6	7	月	上山田町	建物	1				1,569	-	第2
6	10	木	郷原町	建物	1				3,988	-	第1

※ 主な火災とは、次のいずれかに該当する火災

- 1 300万円以上の損害が生じた火災
- 2 死者が発生した火災
- 3 第2出動以上の火災

◎ 月 別 火 災 発 生

区分 月別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 棟 数								合 計	り災程度				り 災 人 員
								火 元				類 焼					全 損	半 損	小 損	合 計	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航空 機	その他	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や						
1 月	8	5	-	-	-	-	3	1	-	1	3	-	-	1	-	6	1	1	3	5	8
2 月	5	2	1	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	1	1
3 月	8	6	-	-	-	-	2	3	-	2	1	-	-	-	2	8	3	-	4	7	13
4 月	3	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
5 月	2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	5	8	1	-	5	6	13
6 月	7	4	-	1	-	-	2	2	-	-	2	1	-	1	3	9	1	-	3	4	4
上半期計	33	20	1	2	-	-	10	7	1	3	9	1	-	3	10	34	6	2	15	23	39
前年同期	39	21	1	3	1	-	13	4	1	4	12	-	2	3	4	30	6	-	13	19	37
対前年差	△ 6	△ 1	0	△ 1	△ 1	-	△ 3	3	0	△ 1	△ 3	1	△ 2	0	6	4	0	2	2	4	2

◎ 月 別 火 災 発 生

区分 月別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 棟 数								合 計	り災程度				り 災 人 員
								火 元				類 焼					全 損	半 損	小 損	合 計	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航空 機	その他	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や						
7 月	4	2	-	1	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	1	1	2
8 月	4	1	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	4
9 月	6	5	-	1	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	5	-	-	2	2	2
10月	6	3	-	-	-	-	3	-	-	2	1	-	-	-	-	3	-	-	3	3	9
11月	3	3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	3	-	-	1	1	1
12月	4	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下半期合計	27	14	-	3	-	-	10	-	1	6	7	-	-	-	-	14	-	-	8	8	18
令和3年合計	60	34	1	5	-	-	20	7	2	9	16	1	-	3	10	48	6	2	23	31	57
令和2年合計	64	31	2	3	2	-	26	6	1	5	19	-	2	4	6	43	18	-	19	37	64
令和2年 と 令和3年 の合計比較	△ 4	3	△ 1	2	△ 2	-	△ 6	1	1	4	△ 3	1	△ 2	△ 1	4	5	△ 12	2	4	△ 6	△ 7

件 数 及 び 損 害 額（上半期）

（令和 3 年中）

死傷者		焼 損 面 積			損 害 額 （ 千 円 ）							
死 者	負 傷 者	建物（㎡）		林 野 （ a）	合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他
		床 面 積	表 面 積			建 物	収容物 （その他の損害 額も含む。）					
-	-	192	5	-	6,382	5,069	1,017	-	-	-	-	296
1	1	32	5	13	3,682	2,178	1,504	-	-	-	-	-
-	4	286	3	-	7,022	5,781	1,239	-			-	2
-	-	-	-	-	53	3	-	-	40	-	-	10
1	-	68	24	-	1,117	564	553	-	-	-	-	-
-	-	105	10	-	5,558	1,545	247	-	206	-	-	3,560
2	5	683	47	13	23,814	15,140	4,560	-	246	-	-	3,868
2	9	588	30	-	19,081	11,926	6,491	-	127	500	-	37
0	△ 4	95	17	13	4,733	3,214	△ 1,931	0	119	△ 500	-	3,831

件 数 及 び 損 害 額（下半期）

（令和 3 年中）

死傷者		焼 損 面 積			損 害 額 （ 千 円 ）							
死 者	負 傷 者	建物（㎡）		林 野 （ a）	合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他
		床 面 積	表 面 積			建 物	収容物 （その他の損害 額も含む。）					
-	-	2	1	-	1,841	93	3	-	1,679	-	-	66
-	-	1	-	-	172	2	2	-	-		-	168
-	-	2	2	-	1,977	1,972	4	-	1	-	-	-
-	1	5	10	-	75	73	2	-	-	-	-	-
-	-	11	-	-	1,222	1,182	40	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	95	-	-	-	80	-	-	15
-	1	21	13	-	5,382	3,322	51	-	1,760	-	-	249
2	6	704	60	13	29,196	18,462	4,611	-	2,006	-	-	4,117
3	11	1,091	175	1	83,089	19,589	30,921	-	127	32,412	-	40
△ 1	△ 5	△ 387	△ 115	12	△ 53,893	△ 1,127	△ 26,310	0	1,879	△ 32,412	-	4,077

◎ 建 物 火 災

次の表のとおり，令和３年中の死者は２名（前年比１名減），負傷者は６名（前年比５名減）となり，火災総件数は６０件（前年比４件減少）となっています。

（各年中）

区 分	令和２年	令和３年	増減
火 災 総 件 数（件）	64	60	△ 4
全火災種別における損害額（千円）	83,089	29,196	△ 53,893
建 物 火 災（件）	31	34	3
建物焼損床面積（㎡）	1,019	704	△ 315
焼 損 棟 数（棟）	43	48	5
建物火災における損害額（千円）	50,543	26,838	△ 23,705
り 災 世 帯（世帯）	37	31	△ 6
り 災 人 員（人）	64	57	△ 7
死 者（人）	3	2	△ 1
負 傷 者（人）	11	6	△ 5

◎ 過去10年間の出火率の変化

（各年中）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年	令和３年
出火率	4.1	3.5	2.9	4.0	3.1	2.2	2.6	3.4	2.9	2.8

出火率とは，人口１万人当たりの１年間の出火度をいいます。

令和３年中における出火率は，２.８件/万人（全国２.７件/万人，広島県２.６件/万人）となっています。

◎ 建物火災損害額の推移

(各年中)

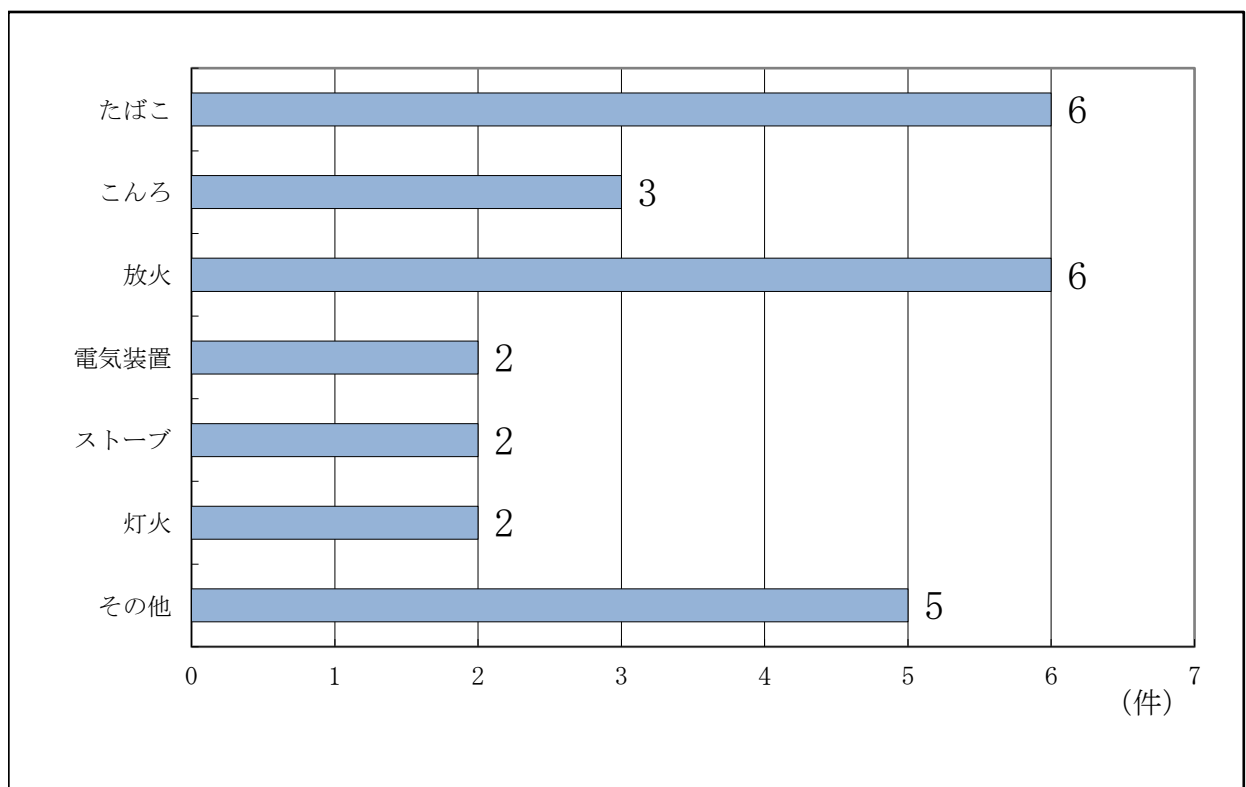
	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
建物損害額 (千円)	118,266	42,966	61,745	71,649	330,103	105,967	478,520	466,270	50,543	26,838
指数	100	36	52	61	279	90	405	394	43	23
建物火災1件 当たりの 損害額(千円)	2,039	1,102	1,669	1,493	7,642	2,175	8,198	10,597	1,630	789
指数	100	54	82	73	375	107	402	520	80	39

※ 指数は平成24年を「100」としています。

※ 損害額は収容物を含むものとしています。

◎ 建物火災の主な原因別火災状況

(令和3年中)



◎ 火災種別件数

(各年中)

区 分	火 災 種 別						合 計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和 3 年	34 (22)	1	5	–	–	20	60
令和 2 年	31 (18)	2	3	2	–	26	64
増減	3 (4)	△ 1	2	△ 2	–	△ 6	△ 4

※ ()内は住宅等を示し、一般住宅、共同住宅及び併用住宅の火災件数です。

※ 全火災件数のうち、建物火災件数の占める割合

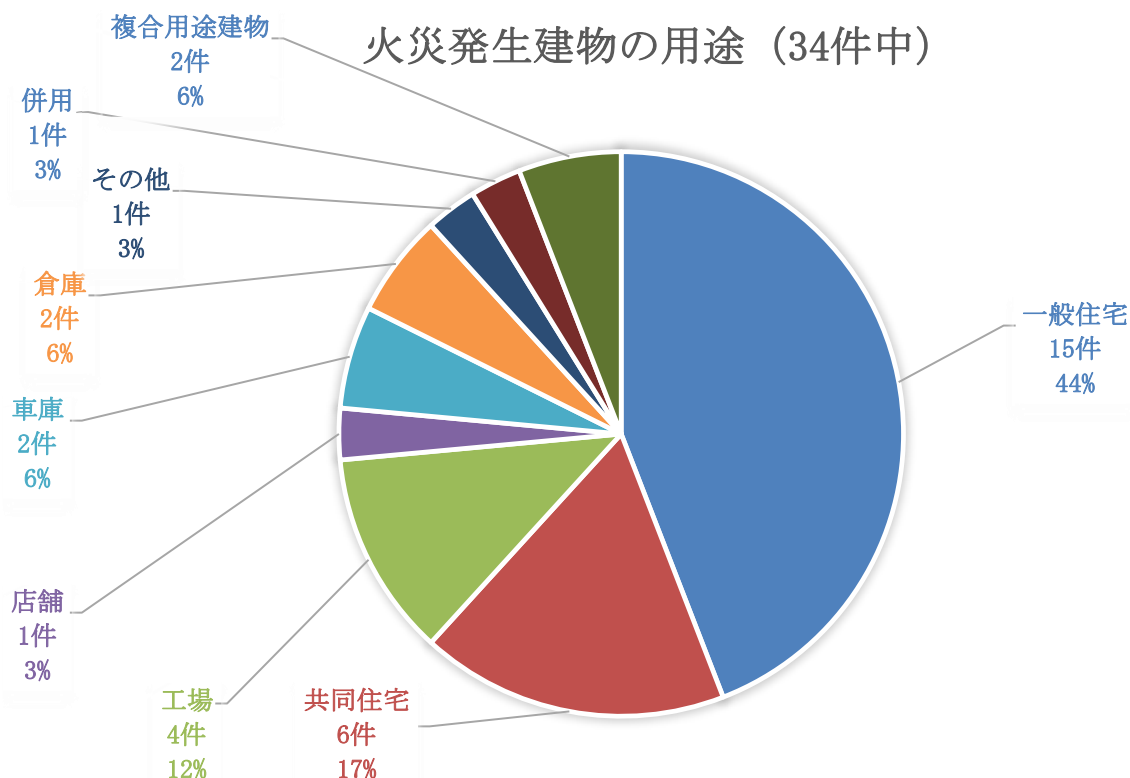
令和 3 年	56.6%
令和 2 年	48.4%

※ 建物火災件数のうち、住宅等における火災件数の占める割合

令和 3 年	64.7%
令和 2 年	58.1%

● 令和 3 年中の全火災件数は60件で、前年と比較して4件減少しました。
前年に比べると、全火災件数のうち、建物火災件数の占める割合は8.2%増加し、56.6% (全国55.5%) となっており、また、建物火災件数のうち、住宅等における火災件数の占める割合は6.6%増加し、64.7% (全国54.8%) となっています。

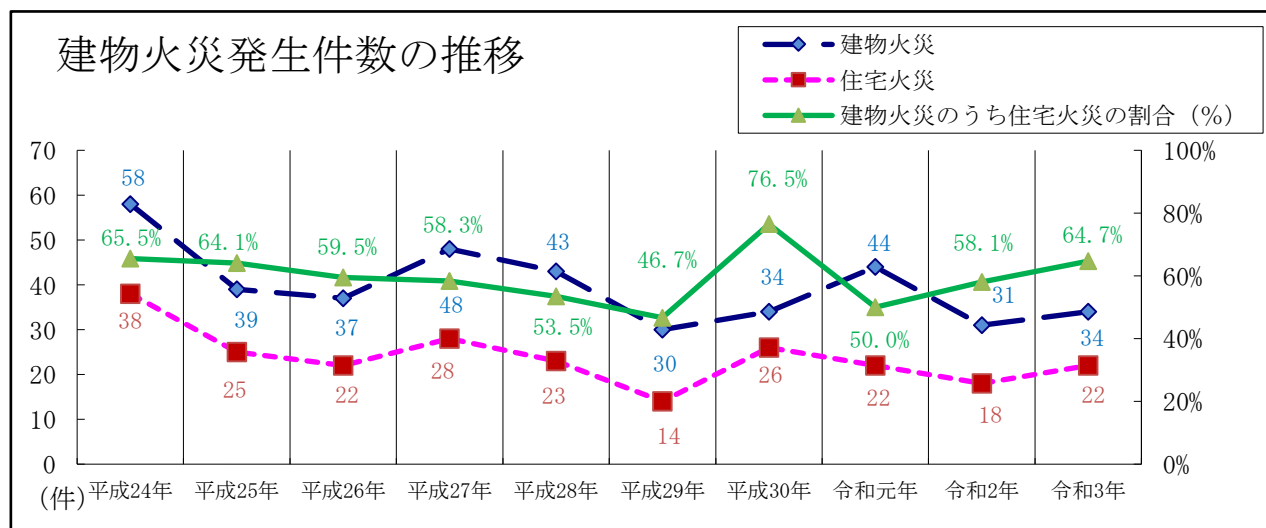
● 非火災事案は、15件発生しています。
非火災事案のうち、住宅等で発生した事案が7件で、そのうち、5件が住宅用火災警報器等 (自動火災報知設備・緊急通報装置) が作動したため、火災にまで至りませんでした。
これは、住宅用火災警報器の設置により、火災が早期に発見され、火災による被害が軽減できることを示しています。



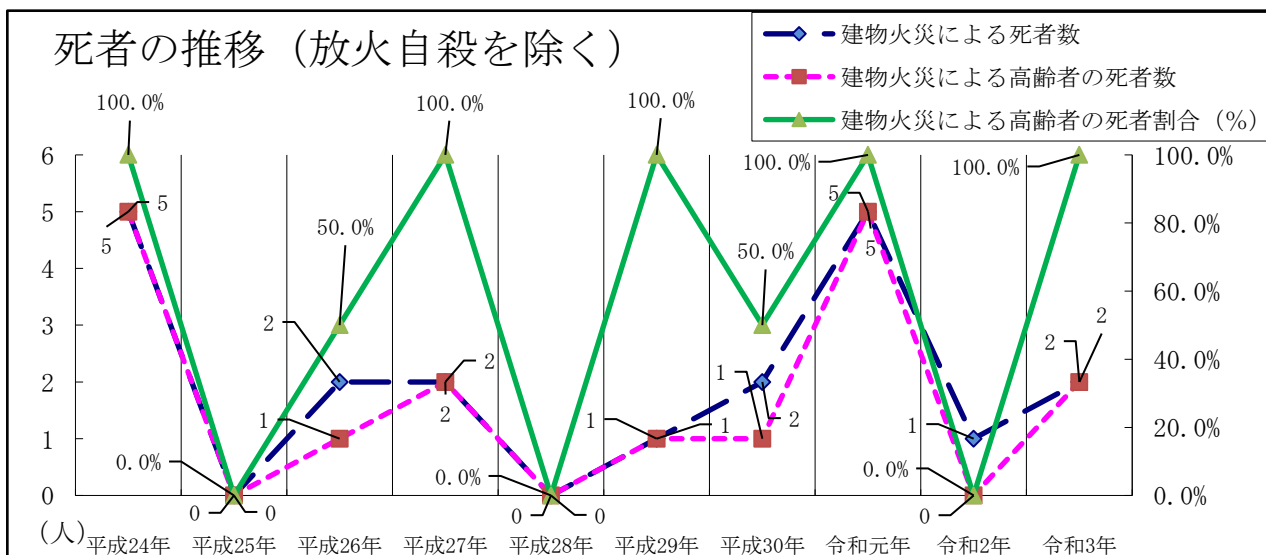
◎ 火災による死傷者

(各年中)

区 分	火 災 種 別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和3年死者数(人)	2	-	-	-	-	-	2
令和2年死者数(人)	1	-	-	-	-	2	3
増減	1	-	-	-	-	△ 2	△ 1
令和3年負傷者数(人)	6	-	-	-	-	-	6
令和2年負傷者数(人)	7	-	-	-	-	4	11
増減	△ 1	-	-	-	-	△ 4	△ 5



※ 住宅火災とは、住宅、共同住宅及び併用住宅の件数を示しています。



◎ 署所別火災発生状況（件数及び損害額）

（令和3年中）

火災種別 署別		建 物 火 災		林 野 火 災		車 両 火 災		船 舶 火 災		その他の火災		合 計	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
西 消 防 署	本 署	10	4,861	-	-	1	1	-	-	3	68	14	4,930
	昭 和 分 署	7	2,073	-	-	-	-	-	-	1	-	8	2,073
	音 戸 分 署	1	47	-	-	-	-	-	-	4	-	5	47
	狩留賀出張所	4	4,471	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4,471
	南 出 張 所	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1
	倉 橋 出 張 所	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	1	15
	小 計	22	11,452	-	-	2	2	-	-	9	83	33	11,537
東 消 防 署	本 署	5	310	-	-	1	1,679	-	-	1	-	7	1,989
	阿賀北出張所	4	4,423	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4,423
	仁 方 出 張 所	-	-	-	-	-	-	-	-	2	296	2	296
	郷 原 出 張 所	1	3,988	-	-	-	-	-	-	2	-	3	3,988
	川 尻 出 張 所	2	6,665	-	-	1	80	-	-	2	168	5	6,913
	蒲 刈 出 張 所	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-
	安 浦 出 張 所	-	-	1	-	1	40	-	-	2	10	4	50
	大崎下島出張所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	12	15,386	1	-	3	1,799	-	-	11	474	27	17,659
合 計		34	26,838	1	-	5	1,801	-	-	20	557	60	29,196

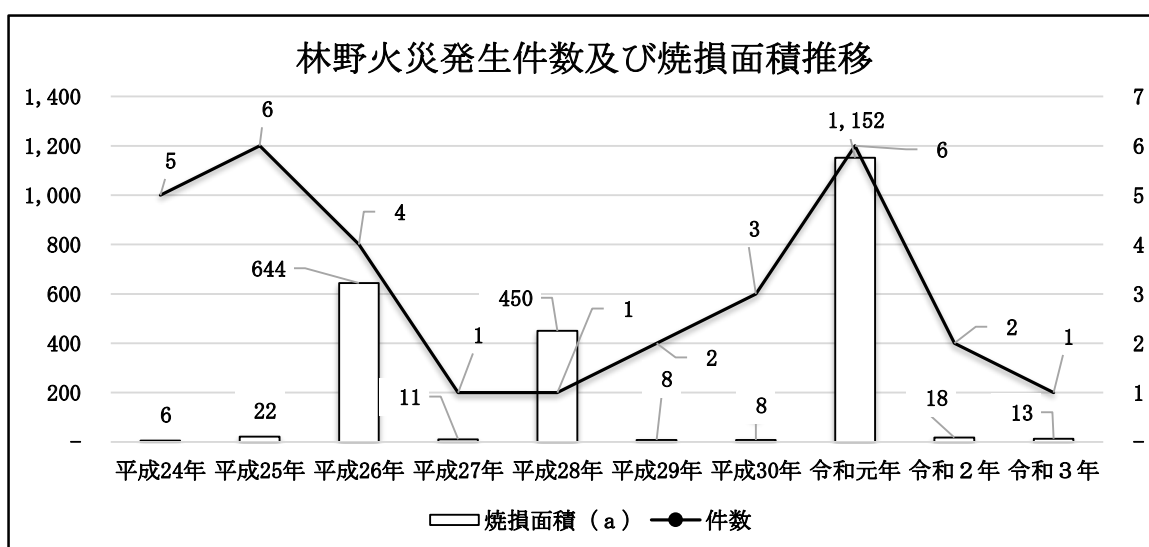
※ 損害額の単位は、「千円」としています。

◎ 林野火災発生状況

令和3年中に発生した林野火災は1件で、前年と比較して1件減少しました。
 焼損面積は13アールと、前年より5アール減少となっています。
 出火原因は、「たき火」となっています。

(各年中)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	5	6	4	1	1	2	3	6	2	1
焼損面積 (a)	6	22	644	11	450	8	8	1,152	18	13



救 急

令和3年中の救急出動件数は10,339件で、搬送人員は9,138人となっています。これは、1日当たりの平均出動件数が28.3件で、管内の住民約23人に1人が搬送されたことになります。

事故種別ごとに見ると、出動件数が最も多いのが、急病の6,475件で全出動件数の約63%を占めています。

また、近年高齢化が進み、年齢別搬送状況を見ても、65歳以上の高齢者の搬送人数が6,715人と、高齢者の方が占める割合が増加し、全搬送人員の約73.5%を占めています。

◎ 救急活動状況と前年比較

(各年中)

	令和2年	令和3年	増減
出動件数 (件)	9,865	10,339	474
搬送人員 (人)	8,713	9,138	425

(各年中)

		令和2年		令和3年		増 減		増 減 率(%)	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
		9,865	8,713	10,339	9,138	474	425	4.8%	4.9%
事 故 種 別	火 災	24	10	29	5	5	△ 5	20.8%	△50.0%
	自 然 災 害	－	－	－	－	0	0	－	－
	水 難	9	4	10	2	1	△ 2	11.1%	△50.0%
	交 通	617	557	635	560	18	3	2.9%	0.5%
	労働災害	76	73	79	78	3	5	3.9%	6.8%
	運動競技	43	41	42	40	△ 1	△ 1	△2.3%	△2.4%
	一般負傷	1,605	1,464	1,692	1,536	87	72	5.4%	4.9%
	加 害	15	11	22	18	7	7	46.7%	63.6%
	自損行為	63	37	61	38	△ 2	1	△3.2%	2.7%
	急 病	6,168	5,466	6,475	5,756	307	290	5.0%	5.3%
	そ の 他	1,245	1,050	1,294	1,105	49	55	3.9%	5.2%
不 搬 送		1,188		1,238		50		4.2%	

◎ 救急隊別出動状況

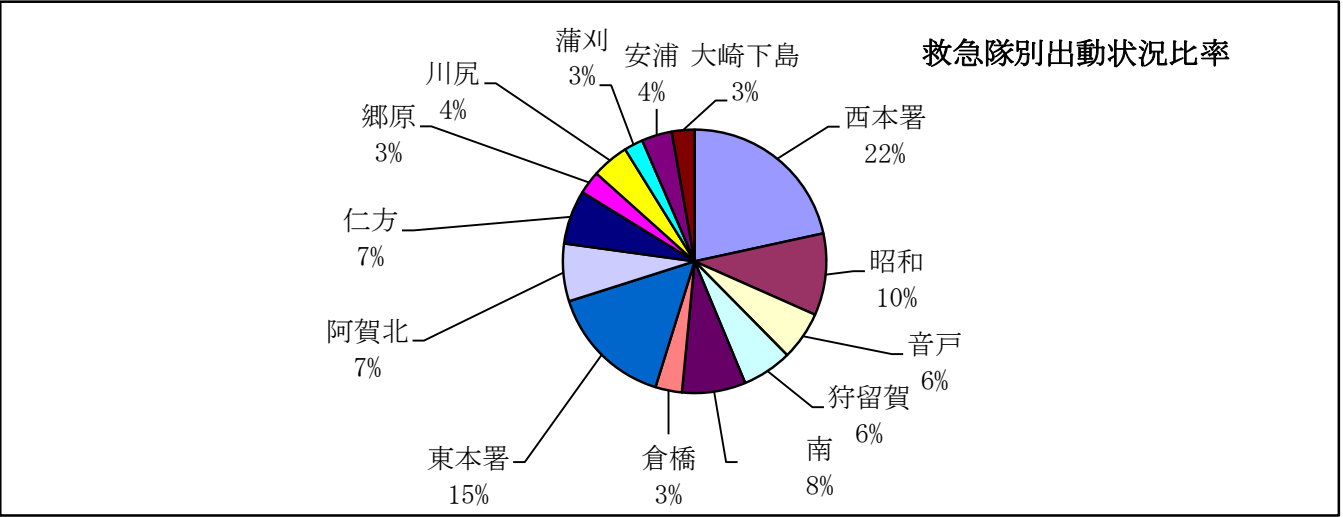
(種別)

(令和3年中)

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計(件)
西本署	9	-	1	133	11	9	360	6	14	1,330	320	2	37	2,232
昭和	1	-	-	56	5	2	164	3	3	719	72	-	14	1,039
音戸	-	-	-	35	10	1	121	-	2	398	44	-	6	617
狩留賀	1	-	1	51	5	1	107	-	3	429	23	-	12	633
南	-	-	-	70	7	3	146	4	7	472	86	-	13	808
倉橋	1	-	-	12	1	1	62	1	-	181	74	-	4	337
東本署	6	-	2	108	16	15	241	3	5	966	181	-	39	1,582
阿賀北	1	-	-	39	4	-	117	-	3	464	86	-	17	731
仁方	1	-	2	42	5	4	108	1	4	459	52	-	7	685
郷原	1	-	-	29	4	5	39	-	4	184	22	-	4	292
川尻	1	-	2	25	4	1	73	3	5	296	47	-	13	470
蒲刈	3	-	-	6	1	-	36	-	3	123	63	-	5	240
安浦	5	-	1	19	5	-	70	1	6	260	9	-	9	385
大崎下島	-	-	1	10	1	-	48	-	2	193	31	-	2	288
合計	30	-	10	635	79	42	1,692	22	61	6,474	1,110	2	182	10,339

(月別)

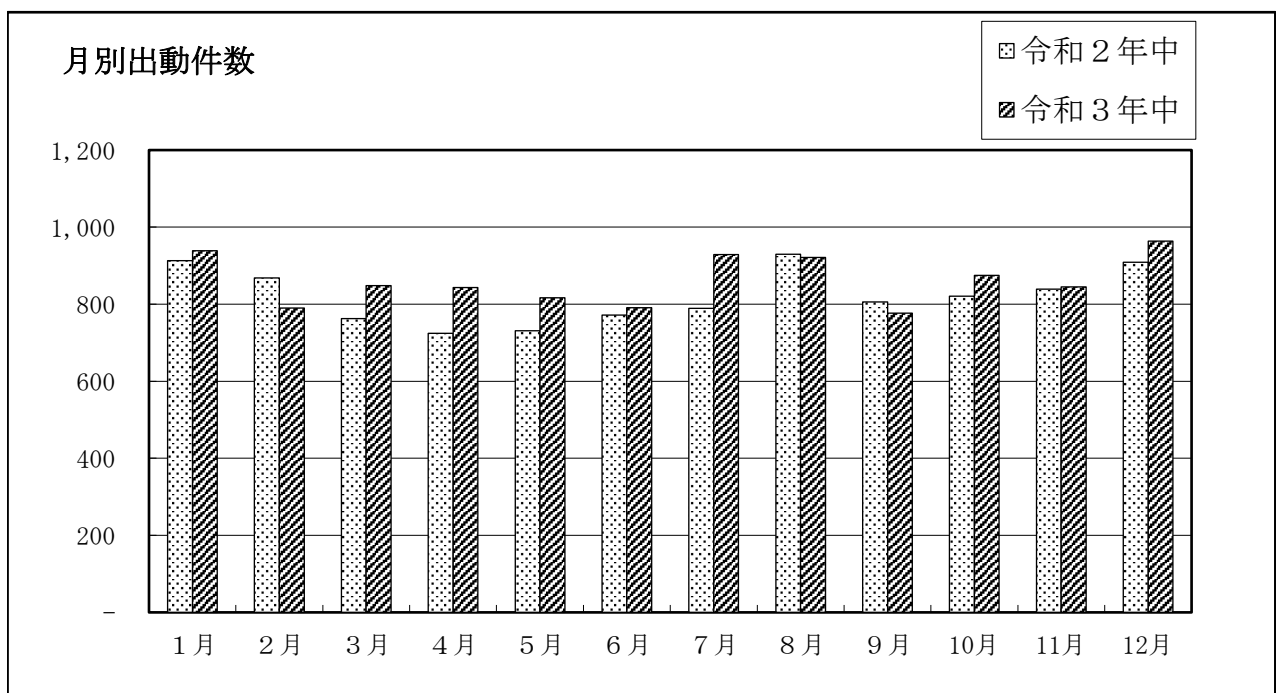
区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(件)
西本署	214	166	182	168	159	162	218	173	172	190	191	237	2,232
昭和	90	87	92	82	91	80	85	91	68	98	89	86	1,039
音戸	45	41	63	45	48	51	54	58	54	52	56	50	617
狩留賀	58	46	56	56	51	57	65	50	40	47	43	64	633
南	77	62	73	60	54	64	70	66	64	79	64	75	808
倉橋	37	20	27	32	29	18	36	33	24	29	24	28	337
東本署	130	130	118	145	123	136	138	153	105	125	124	155	1,582
阿賀北	73	57	50	76	50	61	59	71	59	55	55	65	731
仁方	75	48	49	51	56	56	60	70	53	52	60	55	685
郷原	19	25	21	27	28	17	21	28	28	28	22	28	292
川尻	38	37	46	34	48	24	44	44	36	37	41	41	470
蒲刈	22	19	25	18	16	13	16	23	22	20	18	28	240
安浦	32	35	29	28	31	26	39	35	29	41	35	25	385
大崎下島	29	17	17	21	33	26	24	26	23	22	23	27	288
合計	939	790	848	843	817	791	929	921	777	875	845	964	10,339



◎ 月別救急出動状況

(令和3年中)

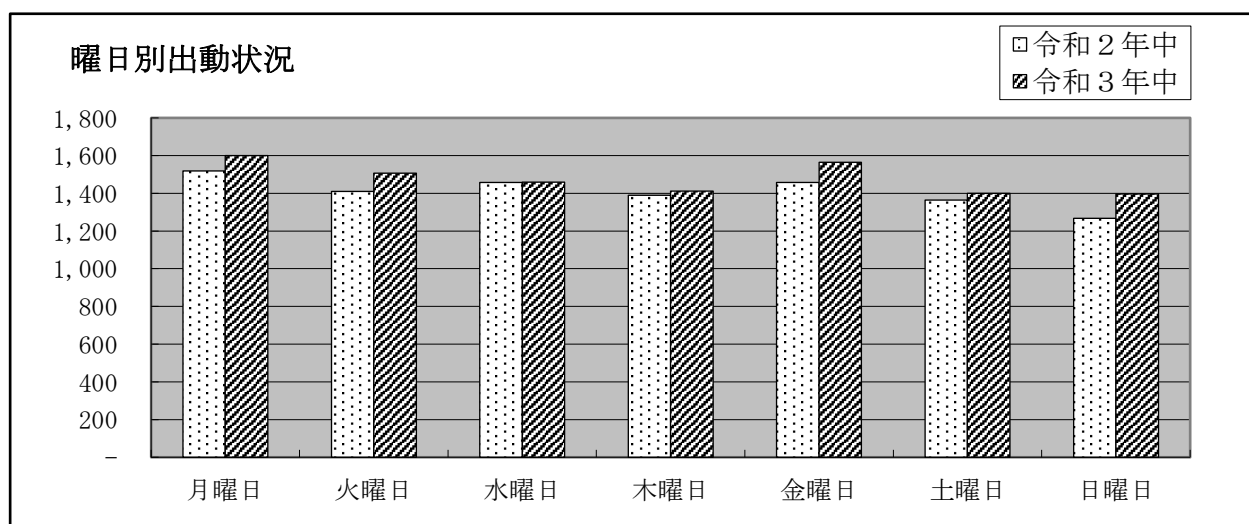
区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火 災	3	4	5	2	1	4	2	2	2	1	3	1	30
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	1	-	-	1	-	-	4	1	2	-	-	1	10
交 通	42	44	52	56	52	47	52	52	46	69	54	69	635
労働災害	2	5	6	7	7	8	12	11	2	5	6	8	79
運動競技	1	2	4	3	6	2	6	2	5	4	3	4	42
一般負傷	142	136	136	135	124	114	154	151	128	145	138	189	1,692
加 害	2	-	3	1	1	1	3	1	1	1	3	5	22
自損行為	3	4	7	3	2	5	10	4	3	10	4	6	61
急 病	581	495	517	531	509	512	602	602	485	534	528	578	6,474
転院搬送	135	87	101	93	103	82	68	77	91	89	94	90	1,110
医師搬送	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2
資材搬送	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	27	13	17	11	12	15	16	18	12	16	12	13	182
合 計	939	790	848	843	817	791	929	921	777	875	845	964	10,339



◎ 曜日別救急出動状況

(令和3年中)

区 分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	計
火 災	8	4	4	4	4	6	－	30
自 然 災 害	－	－	－	－	－	－	－	－
水 難	2	2	1	－	－	4	1	10
交 通	86	117	91	88	93	82	78	635
労 働 災 害	14	19	6	15	14	8	3	79
運 動 競 技	5	1	3	6	6	7	14	42
一 般 負 傷	252	222	252	243	249	236	238	1,692
加 害	6	4	2	－	2	4	4	22
自 損 行 為	4	10	12	5	12	8	10	61
急 病	990	925	883	866	939	898	973	6,474
転院搬送	214	182	179	155	213	117	50	1,110
医師搬送	－	－	1	－	1	－	－	2
資材搬送	－	－	－	－	－	－	－	－
そ の 他	20	21	25	30	31	29	26	182
合 計	1,601	1,507	1,459	1,412	1,564	1,399	1,397	10,339

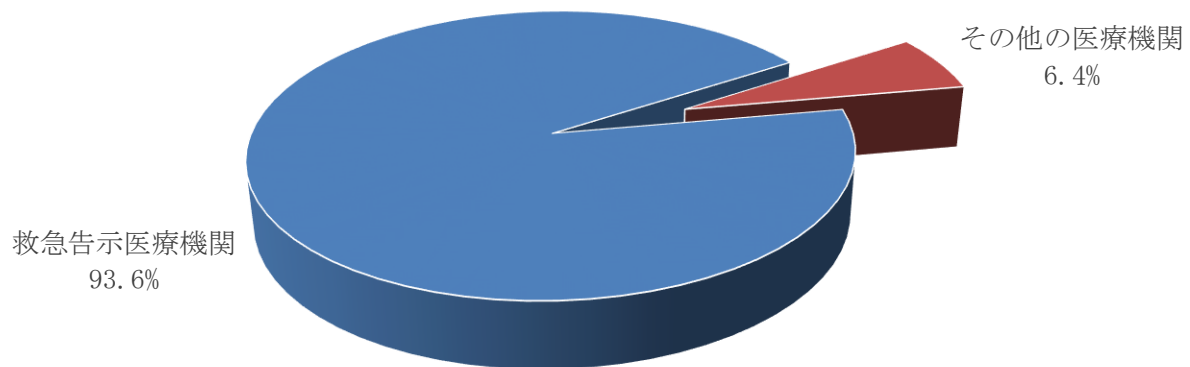


◎ 事故種別・医療機関別搬送状況

(令和3年中)

告示別	事故種別 医療機関別	急病		交通		一般負傷		左記以外の事故		合計	
			うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急 告示 医療 機関	国立	3,465	31	322	6	850	5	788	57	5,425	99
	公立	95	21	1	-	28	11	43	36	167	68
	公的	346	14	10	1	56	3	37	4	449	22
	私的病院	1,542	9	103	3	401	5	352	29	2,398	46
	私的診療所	18	1	21	-	61	-	13	-	113	1
	計	5,466	76	457	10	1,396	24	1,233	126	8,552	236
その 他の 医療 機関	国立	6	-	9	-	-	-	2	-	17	-
	公立	9	-	1	-	3	2	2	2	15	4
	公的	3	-	-	-	3	2	-	-	6	2
	私的病院	181	16	50	1	76	2	33	6	340	25
	私的診療所	90	1	42	-	59	1	16	-	207	2
	計	289	17	102	1	141	7	53	8	585	33
計	国立	3,471	31	331	6	850	5	790	57	5,442	99
	公立	104	21	2	-	31	13	45	38	182	72
	公的	349	14	10	1	59	5	37	4	455	24
	私的病院	1,723	25	153	4	477	7	385	35	2,738	71
	私的診療所	108	2	63	-	120	1	29	-	320	3
	計	5,755	93	559	11	1,537	31	1,286	134	9,137	269
その 他の 場所	その他	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	計	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
合計		5,755	93	559	11	1,538	31	1,286	134	9,138	269

医療機関別搬送状況比率



◎ 管内管外別搬送人員状況

(令和3年中)

区 分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
管内に住所を有する者	5	－	2	472	56	27	1,483	14	36	5,579	1,000	8,674
管外に住所を有する者	－	－	－	88	22	13	53	4	2	174	105	461
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	3
合 計	5	－	2	560	78	40	1,536	18	38	5,756	1,105	9,138

「管内に住所を有する者」とは、管内に住所を有している者をいいます。

「管外に住所を有する者」とは、管内以外の国内に住所を有している者をいいます。

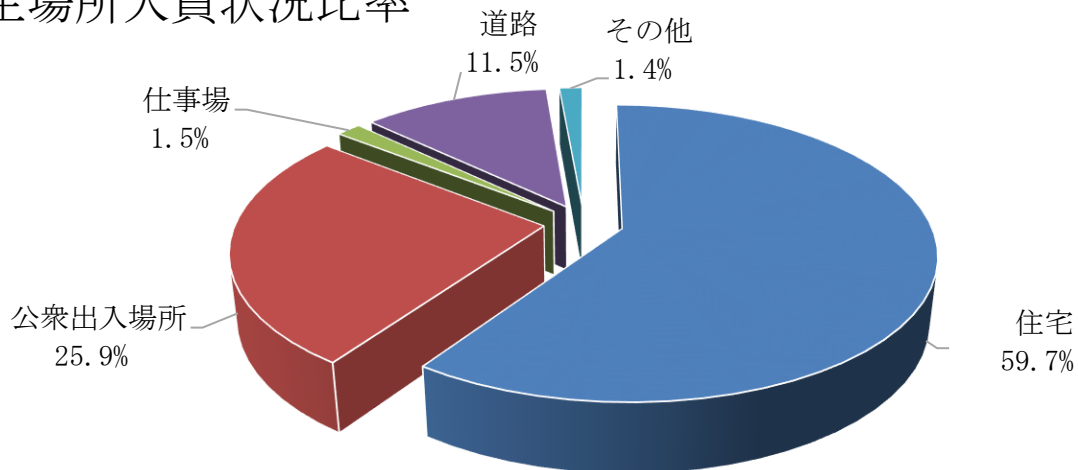
「その他」とは、外国人旅行者（外国人での日本に住所を有している者を除いた外国人）、住所が判明しない者等をいいます。

◎ 発生場所別状況

(令和3年中)

区 分	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計
急 病	4,450	962	86	229	29	5,756
交 通 事 故	11	19	－	522	8	560
一 般 負 傷	929	232	10	281	84	1,536
上 記 以 外	63	1,151	43	22	7	1,286
合 計	5,453	2,364	139	1,054	128	9,138

発生場所人員状況比率



◎ 現場到着所要時間状況（事故種別出動状況）

（令和3年中）

事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急病	53	520	4,337	1,496	69	6,475
交通	12	54	413	138	18	635
一般負傷	14	149	1,085	417	27	1,692
その他	18	332	871	295	21	1,537
計	97	1,055	6,706	2,346	135	10,339

◎ 収容所要時間状況（事故種別搬送人員数）

（令和3年中）

事故種別	覚知時間から医療機関へ収容する時間						計
	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～60分未満	60～120分未満	120分以上	
急病	－	51	854	4,136	698	17	5,756
交通	1	7	89	380	80	3	560
一般負傷	－	4	186	1,084	257	5	1,536
その他	－	105	422	663	93	3	1,286
計	1	167	1,551	6,263	1,128	28	9,138

◎ 年齢別搬送状況

（令和3年中）

区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
火災	－	－	－	2	3	5
自然災害	－	－	－	－	－	－
水難	－	1	－	－	1	2
交通	－	8	44	290	218	560
労働災害	－	－	1	65	12	78
運動競技	－	－	21	16	3	40
一般負傷	－	40	42	194	1,260	1,536
加害	－	－	2	14	2	18
自損行為	－	－	2	28	8	38
急病	1	147	102	1,146	4,360	5,756
その他	9	12	9	227	848	1,105
計	10	208	223	1,982	6,715	9,138

◎ 救急隊員による応急処置実施状況

(令和3年中)

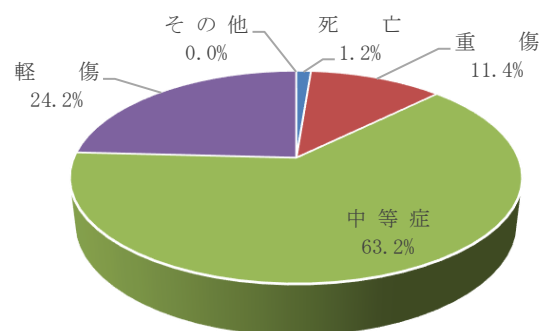
事故種別 応急処置	急病	交通	一般負傷	左記以外の事故	計
対象人員	5,756	560	1,536	1,286	9,138
止血	1	3	9	1	14
固定	43	277	170	19	509
人工呼吸	56	3	3	10	72
心臓マッサージ	30	1	3	5	39
心肺蘇生	216	7	14	21	258
酸素吸入	1,544	51	100	385	2,080
気道確保	358	11	38	34	441
※ (器具を用いた気道確保)	(81)	(1)	(16)	(5)	(103)
保温	22	3	5	8	38
被覆	41	146	373	51	611
在宅治療継続	59	－	3	7	69
ショックパンツ	－	－	－	－	－
その他の応急処置	6,287	602	1,632	1,312	9,833
血圧測定	5,926	601	1,602	1,275	9,404
聴診器での聴取	3,861	376	605	610	5,452
血中酸素濃度測定	6,008	607	1,625	1,303	9,543
心電図	3,908	107	361	522	4,898
※ 血糖値測定	54	－	－	－	54
※ 除細動	13	－	1	－	14
※ 輸液	144	4	13	12	173
※ 薬剤投与	28	1	3	3	35
合計	28,518	2,799	6,544	5,573	43,434

※印にあっては、救急救命士が行った救急救命処置、() は内数

◎ 傷病程度別搬送状況

(令和3年中) 傷病程度別搬送状況比率(%)

傷病程度	搬送人員	比率(%)
死亡	114	1.2%
重症	1,043	11.4%
中等症	5,772	63.2%
軽症	2,208	24.2%
その他	1	0.0%
合計	9,138	100%



◎ 過去 5 年間の救急活動状況

(各年中)

区 分	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
出 動 件 数	11, 209	11, 411	10, 835	9, 865	10, 339
搬 送 人 員	10, 142	10, 109	9, 690	8, 713	9, 138
不 搬 送	1, 118	1, 302	1, 181	1, 188	1, 227
1 隊 当 た り の 出 動 件 数	801	815	773	705	739
1 隊 当 た り の 搬 送 人 員	724	722	692	622	653
1 日 当 た り の 出 動 件 数	31	31	30	27	28

◎ 普及啓発活動実施結果

(令和 3 年中)

		応急救護講習		救命入門コース		救命講習		普及・指導員講習		小計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
地域住民	1～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4～6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7～9	2	14	0	0	0	0	0	0	2	14
	10～12	7	165	0	0	2	44	0	0	9	209
事業所の従業員	1～3	2	23	0	0	1	4	0	0	3	27
	4～6	4	28	0	0	1	10	0	0	5	38
	7～9	7	140	0	0	4	62	0	0	11	202
	10～12	10	137	0	0	4	36	0	0	14	173
学校関係者 (教職員・児童生徒を含む)	1～3	1	47	0	0	0	0	0	0	1	47
	4～6	1	12	0	0	0	0	0	0	1	12
	7～9	9	275	3	130	0	0	0	0	12	405
	10～12	13	539	11	776	2	46	0	0	26	1,361
その他	1～3	0	0	0	0	1	7	0	0	1	7
	4～6	3	49	0	0	1	1	0	0	4	50
	7～9	2	15	0	0	3	18	0	0	5	33
	10～12	4	93	0	0	3	5	0	0	7	98
合 計		65	1,537	14	906	22	233	0	0	101	2,676

※応急救護講習は、講習時間 3 時間未満の講習で修了証を発行しない講習をいう。

※救命入門コースは、講習時間 4 5 分又は 9 0 分の講習で参加証を発行する講習をいう。

※普通救命講習は、講習時間 3 時間又は 4 時間の講習で修了証を発行する講習をいう。

◎ 普及啓発活動実施状況 (平成 2 9 年～令和 3 年中)

年	応急救護講習		普通救命講習		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成 2 9 年	195	7, 619	83	2, 219	278	9, 838
平成 3 0 年	177	7, 066	79	2, 576	256	9, 642
令和 元 年	225	8, 804	69	2, 347	294	11, 151
令和 2 年	87	2, 224	63	1, 801	150	4, 025
令和 3 年	65	1, 537	36	1, 139	101	2, 676

※救命入門コース及び上級救命講習は普通救命講習に含む。

救急隊支援

呉市消防局では、平成10年から救急隊支援を実施しています。これは、呉市の地形を考慮し、高地部や急傾斜地で発生した傷病者を安全かつ迅速に搬送するほか、狭い階段や通路、その他交通量の多い道路における交通事故の現場などで、消防隊が出動して救急隊の処置や搬送を支援するものです。

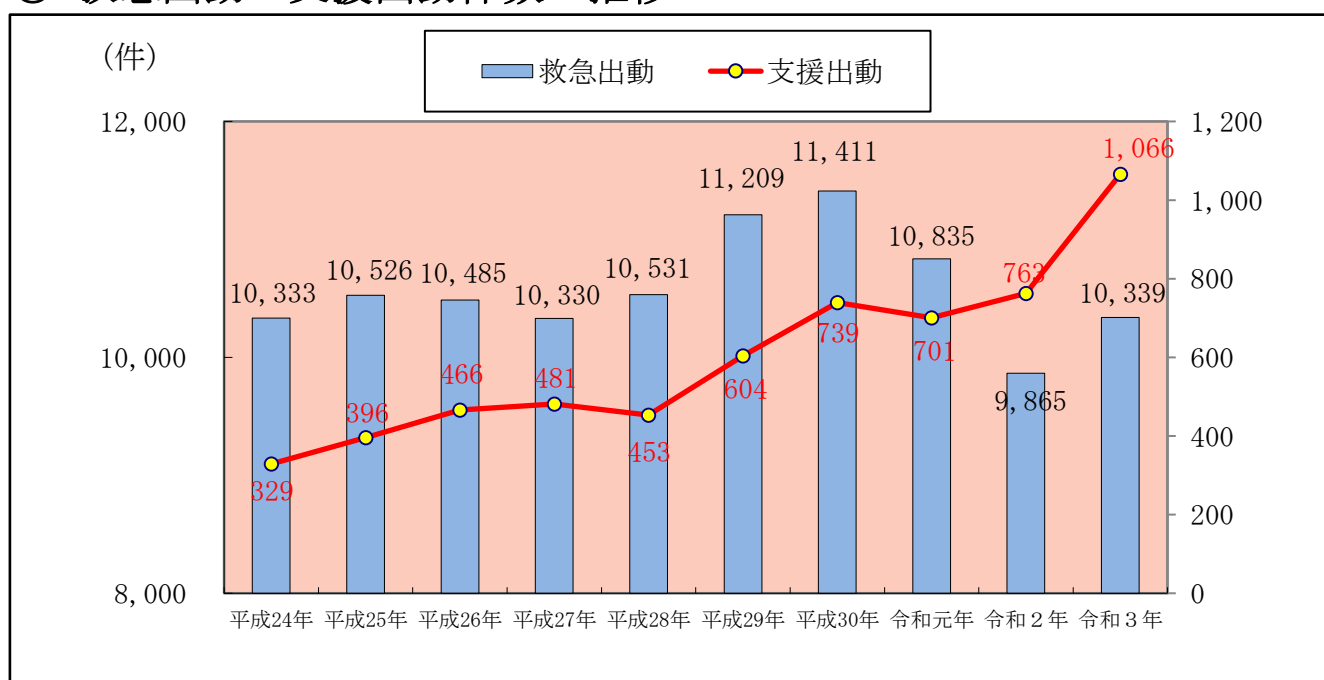
また、119番通報時に心肺停止の患者であることが疑われ、救急隊の到着が遅延すると思われる場合などにも直近の消防隊が出動し、救急隊が到着するまでの間、胸骨圧迫等の救命処置を行っています。

◎ 救急隊支援出動状況

(各年中)

	高地部	中高層	建物構造	救急救命	その他	合 計	救急出動件数	出動割合
平成29年	25	－	11	20	548	604	10,531 件	5.7%
平成30年	68	1	7	24	639	739	11,209 件	6.6%
令和元年	78	－	－	20	603	701	11,411 件	6.1%
令和2年	68	－	－	18	677	763	10,835 件	7.0%
令和3年	154	－	－	33	879	1,066	10,339 件	10.3%

◎ 救急出動・支援出動件数の推移



救 助

呉市消防局の救助体制は、局（警防課）に高度救助隊、東消防署・音戸分署に救助隊を各1隊配置し、潜水士や酸素欠乏作業主任者等の資格を有する救助隊員40名をもって編成しています。

装備については、化学災害や放射線災害など様々な災害に対応するため、化学防護服及び放射線防護服などの保護服や、倒壊建物内の生存者を発見するための画像探索機及び熱画像直視装置などの高度な救助資器材を積載した救助工作車を2台、油圧救助資器材等を積載した消防自動車1台、計3台を配備しています。

令和3年中の救助出動件数（救急隊支援、ヘリコプター支援及び救急救命を除く。）は、54件で37名を事故現場から救助しています。

事故種別は、「交通事故」が26件で第1位、「水難事故」が10件で第2位となっています。

◎ 過去5年間の救助出動件数及び活動状況

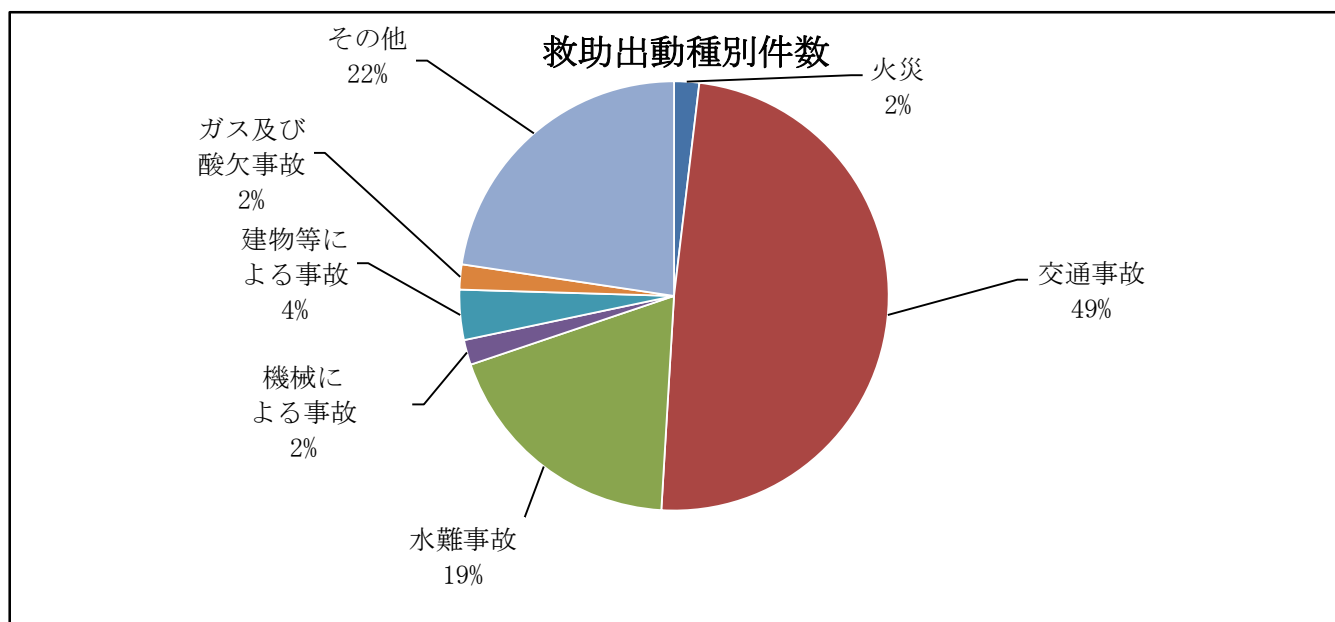
(各年中)

種 別	区 分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総 計	出 動 件 数	48	115	52	56	54
	活 動 件 数	26	87	34	36	34
	救 助 人 員	33	345	34	31	37
火 災	出 動 件 数	－	－	1	－	1
	活 動 件 数	－	－	1	－	1
	救 助 人 員	－	－	1	－	1
交 通 事 故	出 動 件 数	24	22	24	23	26
	活 動 件 数	9	6	11	11	16
	救 助 人 員	16	9	11	12	19
水 難 事 故	出 動 件 数	8	15	13	11	10
	活 動 件 数	6	9	11	7	6
	救 助 人 員	6	9	11	5	6
山 岳 事 故	出 動 件 数	－	－	－	1	1
	活 動 件 数	－	－	－	1	1
	救 助 人 員	－	－	－	1	1
風 水 害 等 自 然 災 害	出 動 件 数	－	58	－	－	－
	活 動 件 数	－	58	－	－	－
	救 助 人 員	－	313	－	－	－
機 械 に よ る 事 故	出 動 件 数	2	1	2	3	1
	活 動 件 数	2	－	2	2	1
	救 助 人 員	2	－	2	2	1
建 物 等 に よ る 事 故	出 動 件 数	－	3	4	－	2
	活 動 件 数	－	2	2	－	1
	救 助 人 員	－	2	2	－	1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出 動 件 数	－	－	－	2	1
	活 動 件 数	－	－	－	2	－
	救 助 人 員	－	－	－	3	－
破 裂 事 故	出 動 件 数	－	－	－	－	－
	活 動 件 数	－	－	－	－	－
	救 助 人 員	－	－	－	－	－
その他の事故	出 動 件 数	14	16	8	16	12
	活 動 件 数	9	12	7	13	8
	救 助 人 員	9	12	7	8	8

◎ 救助出動状況

(令和3年中)

種 別	火災	交通事故	水難事故	山岳事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
件 数	1	26	10	1	-	1	2	1	-	12	54



◎ その他の災害出動状況（過去5年間）

（各年中）

出 動		種 別	誤 報	虚 報	警 戒	非 火 災	ヘリ コプ ター 支 援	そ の 他	合 計
平成 29 年	出 動 回 数		35	3	59	26	37	41	201
	出 動 台 数		148	9	67	116	39	93	472
	出 動 人 員		455	25	219	351	133	305	1,488
平成 30 年	出 動 回 数		24	1	109	19	50	56	259
	出 動 台 数		130	8	132	80	55	112	517
	出 動 人 員		392	23	427	248	177	367	1,634
令和 元 年	出 動 回 数		13		88	15	42	10	168
	出 動 台 数		72		94	47	43	31	287
	出 動 人 員		232		301	140	145	97	915
令和 2 年	出 動 回 数		25	3	68	17	63	17	193
	出 動 台 数		138	16	79	81	65	47	426
	出 動 人 員		429	47	249	243	209	151	1,328
令和 3 年	出 動 回 数		53	1	52	15	61	26	208
	出 動 台 数		323	8	69	51	62	105	618
	出 動 人 員		951	23	212	139	200	335	1,860

消 防 水 利

令和4年3月31日現在

種 別 管 内 別		合 計	消 火 栓		防 火 水 槽				プ ル	河 川	溝	濠	池	海	井 戸	そ の 他
			公 設	私 設	公 設		私 設									
					40 ト ン 以 上	40 ト ン 未 満	40 ト ン 以 上	40 ト ン 未 満								
合 計		6,662	5,240	399	421	62	173	50	50	10	-	-	3	46	2	206
西 消 防 署 管 内	小 計	3,479	2,821	266	151	25	109	27	30	7	-	-	3	38	1	1
	本 署	1,049	899	49	35	4	40	7	10	-	-	-	2	2	-	1
	昭 和 分 署	671	569	5	67	1	16	1	5	7	-	-	-	-	-	-
	音 戸 分 署	403	378	-	8	6	1	-	5	-	-	-	-	5	-	-
	狩 留 賀 出 張 所	542	377	107	15	2	24	6	5	-	-	-	-	5	1	-
	南 出 張 所	472	296	105	10	3	28	13	4	-	-	-	1	12	-	-
	倉 橋 出 張 所	342	302	-	16	9	-	-	1	-	-	-	-	14	-	-
東 消 防 署 管 内	小 計	3,183	2,419	133	270	37	64	23	20	3	-	-	-	8	1	205
	本 署	922	734	84	36	5	35	17	6	1	-	-	-	2	-	2
	阿 賀 北 出 張 所	363	326	8	11	1	7	2	6	-	-	-	-	1	-	1
	仁 方 出 張 所	181	170	-	5	-	3	-	1	1	-	-	-	1	-	-
	郷 原 出 張 所	168	136	6	16	-	8	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	川 尻 出 張 所	286	214	11	46	1	5	-	2	-	-	-	-	4	1	2
	安 浦 出 張 所	438	352	24	24	25	6	4	3	-	-	-	-	-	-	-
	蒲 刈 出 張 所	270	219	-	43	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6
	大 崎 下 島 出 張 所	555	268	-	89	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	194

消 防 機 械

消防力の諸要素のうちで、消防機械と装備は重要な位置付けがされており、都市消防においては各種の災害に適応する消防機械の充実強化が期されているところです。

当局においても、災害の複雑多様化に対処するため、消防機械の充実に努め、科学消防力の強化を図っています。

◎ 主な消防車両等

令和4年3月31日現在

車両種別	消 防 ポ ン プ 自 動 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	化学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	はしご付消防自動車		小型 動力 ポン プ 付 積 載 車	救 急 自 動 車		救 助 工 作 車		指 令 車	署 長 指 揮 車	指 揮 調 査 車	原 因 調 査 車	予 防 指 導 車	輸 送 車	広 報 車	機 材 搬 送 車	人員輸送車・多目的車	救 急 艇	※ 拠 点 機 能 形 成 車	
				Ⅱ型	30 m		35 m	高規格	2 B 型	Ⅱ型												Ⅲ型
合 計	73	21	3	2	1	1	6	6	10	1	1	1	1	2	1	4	2	1	5	2	1	1

※ 消防組織法第50条の規定に基づく国有財産等の無償使用として配備

◎ 主な機械器具

令和4年3月31日現在

可 搬 ウ ィ ン チ	ガ ス 溶 断 機	大型 油 圧 救 助 器 具	チ ェ ン ソ ー	送 排 風 機	空 気 呼 吸 器	酸 素 呼 吸 器	発 電 機	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	化 学 防 護 服	熱 画 像 直 視 装 置	夜 間 暗 視 装 置	地 中 音 響 探 知 機	画 像 探 索 機Ⅱ 型	画 像 探 索 機Ⅰ 型	地 震 警 報 器	電 磁 波 探 査 装 置
6	3	2	28	3	103	11	42	14	17	6	1	1	2	1	1	1

マ ット 式 空 気 ジャ ッキ	マン ホ ール 救 助 器 具	救 命 ボ ー ト	自 給 式 潜 水 器 具	放 射 線 防 護 服	防 毒 衣	耐 熱 服	耐 電 衣	放 射 線 測 定 器	ガ ス 測 定 器	エ ア ー ソ ー	削 岩 機	電 動 ハン マ ー	救 命 索 発 射 銃	イ ン パ ル ス	除 染 テ ン ト	レ シ プ ロ ソ ー
3	3	5	38	4	2	8	9	59	17	3	3	3	3	2	3	3

●高機能消防指令センター

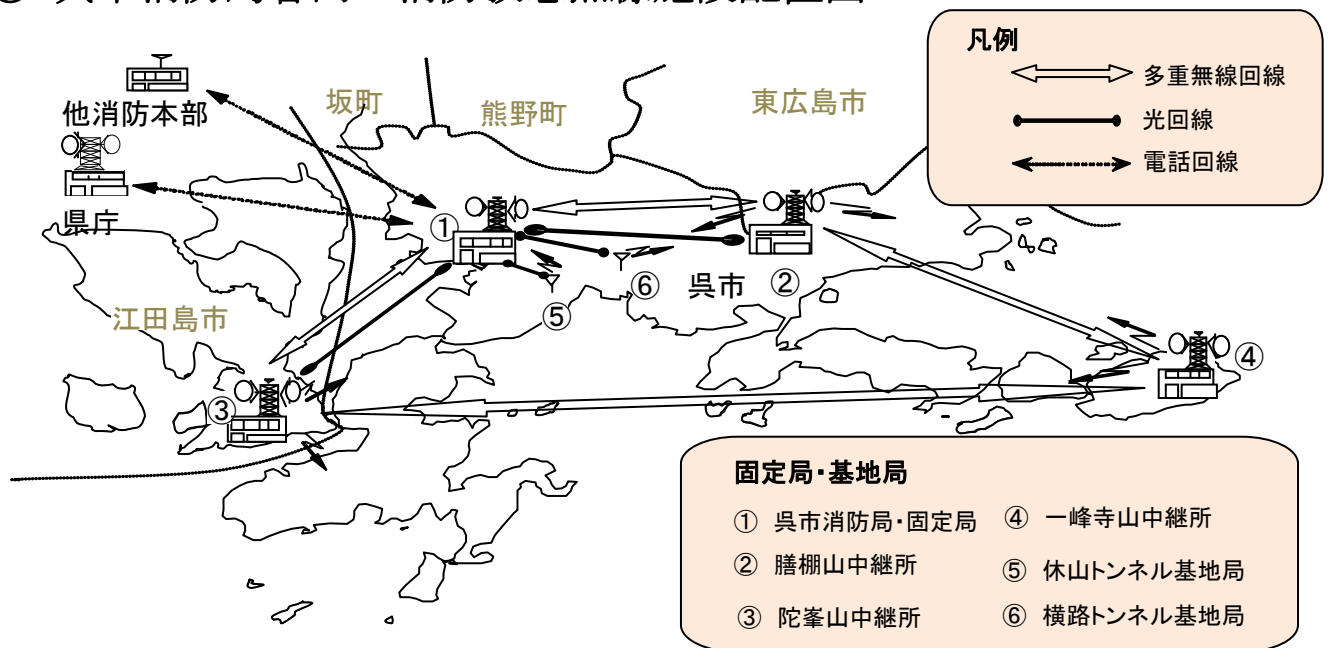
呉市消防局の高機能消防指令センターは、令和2年3月呉市消防局・西消防署新庁舎移転と同時に運用を開始しています。

この指令センターの機能として、音声による通報が困難な方や外国人の方が安心して円滑に緊急通報を行うための「ネット119緊急通報システム」，「多言語電話通訳サービス」のほか、災害現場の映像を指令センターで確認し、迅速な情報共有が可能となる「映像通報システム」，「画像伝送システム」を運用しています。災害の複雑化や大規模災害、救急需要の増加への対応が、これまで以上に的確に行える最新技術を搭載し、円滑な通報と迅速な対応を可能にしています。

●消防救急無線

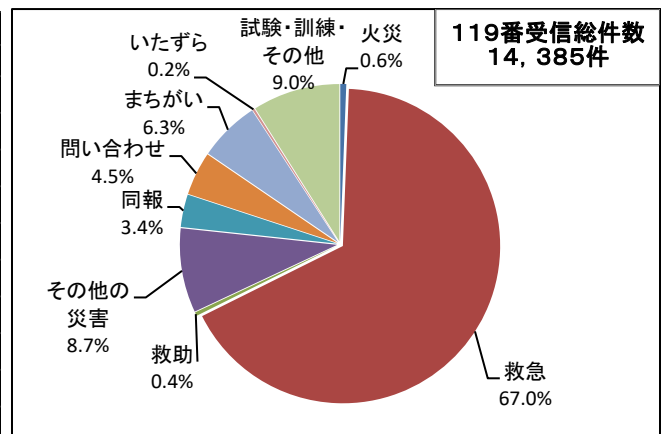
災害時の情報通信の要となる消防救急無線は、平成28年3月からデジタル方式による運用を開始しています。現在は呉市消防局から「膳棚山中継所」，「陀峯山中継所」，「一峰寺山中継所」の各中継所や，「休山トンネル基地局」，「横路トンネル基地局」の各トンネル基地局を使用して、円滑な運用が実現されています。また、消防隊や救急隊に配備された携帯無線機や車載無線機についてもデジタル方式に更新することで、より精度の高い無線通信が実現し、消防救急活動体制の強化が図られています。

◎ 呉市消防局管内の消防救急無線施設配置図



◎ 災害等受信総件数（令和3年中）

通報種別 災害種別	固定119	IP電話119	携帯電話 119	その他の 通報	合計
火災	37	5	40	6	88
救助	6	1	35	12	54
救急	2,665	2,195	4,237	546	9,643
その他	338	133	577	199	1,247
同報	150	47	283	3	483
まちがい	230	48	505	119	902
いたずら	12	1	19	-	32
問い合わせ	157	75	390	22	644
その他・訓練	467	274	388	163	1,292
合計	4,062	2,779	6,474	1,070	14,385



※ その他の通報：登録制通報装置，加入電話，自己覚知等による受信

※ 少数点第二以下を四捨五入した数値を記入

◎ 1 1 9 番受信状況

(各年中)

年 別	区 分	受信 回数	災 害					そ の 他				
			小 計	火 災	救 急	そ の 他 (救助含む)	同 報	小 計	問 い 合 わ せ	ま ち が い	いた ず ら	訓 練 そ の 他
平成 29年	固定電話等	6,932	5,350	29	4,786	381	154	1,582	207	446	35	894
	携帯電話	5,902	4,608	35	4,002	315	256	1,294	368	395	113	418
	I P 電話	2,825	2,395	18	2,199	99	79	430	94	84	1	251
	合計	15,659	12,353	82	10,987	795	489	3,306	669	925	149	1,563
	1日平均	42.8	33.8	0.2	30.0	2.2	1.3	9.0	1.8	2.5	0.4	4.3
平成 30年	固定電話等	7,101	5,222	28	4,499	547	148	1,879	357	405	12	1,105
	携帯電話	7,078	5,011	43	4,236	413	319	2,067	740	427	16	884
	I P 電話	3,079	2,476	11	2,268	120	77	603	191	73	-	339
	合計	17,258	12,709	82	11,003	1,080	544	4,549	1,288	905	28	2,328
	1日平均	47.3	34.8	0.2	30.1	3.0	1.5	12.5	3.5	2.5	0.1	6.4
令和 元年	固定電話等	6,249	4,827	28	4,158	459	182	1,422	184	356	18	864
	携帯電話	6,265	4,875	42	4,151	350	332	1,390	414	467	37	472
	I P 電話	2,824	2,347	12	2,166	104	65	477	101	75	1	300
	合計	15,338	12,049	82	10,475	913	579	3,289	699	898	56	1,636
	1日平均	42.0	33.0	0.2	28.7	2.5	1.6	9.0	1.9	2.5	0.2	4.5
令和 2年	固定電話等	5,656	4,178	27	3,446	537	168	1,478	240	559	11	668
	携帯電話	5,887	4,646	37	3,965	381	263	1,241	390	485	24	342
	I P 電話	2,519	2,124	12	1,979	78	55	395	79	63	2	251
	合計	14,062	10,948	76	9,390	996	486	3,114	709	1,107	37	1,261
	1日平均	38.5	30.0	0.2	25.7	2.7	1.3	8.5	1.9	3.0	0.1	3.5
令和 3年	固定電話等	5,125	3,962	43	3,211	555	153	1,163	179	349	12	623
	携帯電話	6,474	5,172	40	4,237	612	283	1,302	390	505	19	388
	I P 電話	2,786	2,381	5	2,195	134	47	405	75	48	1	281
	合計	14,385	11,515	88	9,643	1,301	483	2,870	644	902	32	1,292
	1日平均	39.4	31.5	0.2	26.4	3.6	1.3	7.9	1.8	2.5	0.1	3.5

※災害欄のその他の件数は、火災、救急以外の災害件数（救助含む。）

※固定電話等は、携帯電話及び I P 電話以外の通報区分全てを含む。（緊急通報装置、加入電話等）

※1日平均は、少数点第二以下を四捨五入した数値を記入。

◎ 過去5年間の登録制通報装置受信状況

(各年中)

年 別	項 目	緊急通報装置	F A X 1 1 9	メー ル 1 1 9	N E T 1 1 9
平成29年		134	1	－	令和2年4月1日 運用開始
平成30年		104	－	－	
令和元年		93	1	－	
令和2年		72	－	－	2
令和3年		105	1	1	2

◎ 映像通報システム利用状況

(令和3年中)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
映像通報 利用回数	0	0	0	0	0	10	13	12	4	4	4	11	58

- 本サービスは令和3年6月1日より運用開始しております。
- 映像通報利用回数には位置情報の取得のみに利用した回数も含めています。
- 訓練等で利用した件数は含まれていません。

◎ 多言語電話通訳サービス利用状況

(令和3年中)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
利用回数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
利用言語	－	－	－	－	－	－	中国語	－	－	ポルトガル語 ベトナム語	－	－	

- 英語・中国語・ベトナム語・タガログ語等22言語に対応しています。
- 24時間365日対応可能です。

◎ 過去5年間の出動指令状況

(各年中)

年別	区分	火災	救助	警戒	その他	救急隊支援	へり支援	救急救命	救 急	合 計
平成29年		82	48	89	9	476	38	135	10,987	11,864
平成30年		82	120	141	9	519	52	239	11,003	12,165
令和元年		82	51	97	3	477	45	240	10,475	11,470
令和2年		76	55	83	8	382	64	404	9,390	10,462
令和3年		88	54	79	18	503	61	586	9,643	11,032

◎ 通信指令施設の現況

令和4年3月31日現在

区分 容 量 実 装 量 通信施設別				消防局	西 消 防 署						東 消 防 署							
					本 署	昭 和 分 署	音 戸 分 署	狩 留 賀 出 張 所	南 出 張 所	倉 橋 出 張 所	本 署	阿 賀 北 出 張 所	仁 方 出 張 所	郷 原 出 張 所	川 尻 出 張 所	安 浦 出 張 所	蒲 刈 出 張 所	大 崎 下 島 出 張 所
有線 通信 施設	消防 緊急 通信 指令 施設	119 番 受 信 回 線	16	20	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		衛星携帯電話受信回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		携帯119番転送回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		指 令 伝 送 回 路	14	20	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		一 般 加 入 電 話 回 線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		専 用 電 話 回 線	3	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有 無 線 接 続 回 線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		録 音 回 路	48	48	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		車 両 運 用 表 示 盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		支 援 情 報 表 示 盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		多目的情報表示盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		関係機関連絡用 順次指令回線	2	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		署用車両運用表示盤	3	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		統合型位置情報 通知装	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	携 帯 電 話	38	-	8	6	2	2	2	2	2	5	1	1	1	1	2	2	1
緊 急 通 報 装 置	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
言語障害聴覚障害者用ファックス	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
メール119番通報システム	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ネット119緊急通報システム	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
県 防 災 フ ァ ッ ク ス	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
災害案内用テレホンガイド回線	20	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無線 通信 施設	固定局	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		基地局	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	陸上 移動 局	車載無線機(10w)	74	-	6	12	4	6	3	3	3	16	3	2	2	3	4	4
		携帯無線機(10w)	4	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		携帯無線機(5w)	100	-	33	16	4	4	3	3	3	18	2	2	2	2	3	3
		携帯無線機(1w)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 線 従 事 者		第1級陸上特殊無線技術士										26名						
		第2級陸上特殊無線技術士										69名						
		第3級陸上特殊無線技術士										3名						

消防団

消 防 団

本市の消防団は、昭和22年4月の消防団令公布と同時に団員定数1,413名で発足。昭和23年3月7日には改めて自治体消防の機関となりました。その後、幾多の組織改革を行い、昭和31年10月には天応町・昭和村・郷原村と合併、平成15年4月1日に下蒲刈町と、平成16年4月1日に川尻町と、平成17年3月20日には音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊町と合併、平成21年4月1日に分団再編が完了し、1本部、5方面隊、37分団となりました。平成31年4月1日に川尻西・東分団が統合し、現在の消防団組織となっています。

◎ 消防団の組織と人員等

1本部、5方面隊、36分団

令和4年4月1日現在

方面隊	地区隊（分団名）	基本団員 （人）	機能別団員 （人）	装備（台）	
				小型動力ポンプ 付積載車	指揮車他
	呉市消防団本部	36	—	—	4
呉	呉東（大和，本通分団）	112	3	8	—
	呉中央（中央，湾岸分団）	77	1	6	—
	呉北（昭和，天応分団）	108	—	6	—
広	広西（阿賀，大冠，広西，広北，郷原分団）	149	9	13	—
	広東（広中央，広東，広南，仁方分団）	139	2	13	—
安芸	下蒲刈（下蒲刈分団）	64	—	6	—
	蒲刈（蒲刈向，蒲刈中央，蒲刈大浦分団）	81	1	7	—
	豊浜（豊浜分団）	63	—	7	—
	豊（豊分団）	112	—	9	—
安川	川尻（川尻分団）	66	1	9	—
	安浦（安浦三津口，安浦内海，安浦野路， 安浦北，安浦安登分団）	203	2	14	—
音倉	音戸（瀬戸，音戸東，波多見，音戸南，音戸西分団）	234	6	19	—
	倉橋（倉橋西，倉橋北，倉橋東，倉橋南分団）	214	—	18	—
小 計		1,658	25	135	4
合 計		1,683		139	

◎ 消防団員の年齢構成

令和4年4月1日現在

階級別 年齢別	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合計	1,683 (36)	1	15	40 (1)	57 (1)	284 (3)	414 (3)	872 (28)
18～20歳	10 (1)	—	—	—	—	—	—	10 (1)
21～25歳	38 (3)	—	—	—	—	—	—	38 (3)
26～30歳	67 (2)	—	—	—	—	1	6	60 (2)
31～35歳	78 (1)	—	—	—	—	2	13	63 (1)
36～40歳	169 (4)	—	—	—	—	3 (1)	27	139 (3)
41～45歳	205 (5)	—	—	—	1 (1)	14	48 (1)	142 (3)
46～50歳	302 (6)	—	—	—	3	42	101	156 (6)
51～55歳	249 (5)	—	—	1	9	68 (2)	72 (1)	99 (2)
56～60歳	228 (3)	—	2	9	10	62	76	69 (3)
61歳以上	337 (6)	1	13	30 (1)	34	92	71 (1)	96 (4)

()は女性団員で内数

(平均年齢 49.6歳)

◎ 消防団員の勤続年数

令和4年4月1日現在

区 分	団員数	構成率
5年未満	190 (13)	11.3%
5年以上10年未満	300 (12)	17.8%
10年以上15年未満	300 (4)	17.8%
15年以上20年未満	225 (4)	13.4%
20年以上25年未満	190 (1)	11.3%
25年以上30年未満	200 (2)	11.9%
30年以上	278 (0)	16.5%
計	1,683 (36)	

()は女性団員で内数

◎消防団担当区域

方面	地区	分団名	管 轄 区 域
呉	呉 東	大和	宮原支所所管区域、警固屋支所所管区域
		本通	三和町、清水１～３丁目、八幡町、本通１～８丁目、中通１～４丁目、幸町、本町、和庄登町、和庄本町、和庄１・２丁目、寺本町、溝路町、長迫町、上長迫町、東鹿田町、西鹿田１・２丁目、東畑１・２丁目、西畑町、上畑町、吾妻１・２丁目、平原町、上平原町
	呉 中 央	中央	西谷町、上山田町、下山田町、伏原１～３丁目、長ノ木町、東中央１～４丁目、朝日町、南辰川町、東辰川町、西辰川１・２丁目、畝原町、東惣付町、西惣付町、望地町、内神町、上内神町、中央３～７丁目、東片山町、西片山町、西中央３～５丁目、江原町、郷町、二河町、上二河町
		湾岸	中央１・２丁目、西中央１・２丁目、山手１・２丁目、東三津田町、西三津田町、三条１～４丁目、東愛宕町、西愛宕町、宝町、二河峡町、両城１・２丁目、海岸１～４丁目、東川原石町、西川原石町、北塩屋町、東塩屋町、西塩屋町、新宮町、築地町、光町、吉浦支所所管区域（弥生町、汐見町、梅木町、大山町、長谷町を除く。）
	呉 北	昭和	昭和支所所管区域
		天応	天応支所所管区域、吉浦支所所管区域のうち湾岸分団の管轄区域を除く区域
広	広 西	阿賀	阿賀支所所管区域のうち大冠分団の管轄区域を除く区域
		大冠	阿賀南８・９丁目、情島
		広西	広横路１～４丁目、広大広１・２丁目、広古新開１～９丁目、広文化町、広多賀谷１～３丁目
		広北	広弁天橋町、広中迫町、広三芦１・２丁目、広塩焼１・２丁目、広町田１・２丁目、広徳丸町、広石内１～４丁目
		郷原	郷原支所所管区域
	広 東	広中央	広末広１・２丁目、広本町１～３丁目、広大新開１～３丁目、広中新開１～３丁目、広吉松１・２丁目、広駅前１・２丁目、広中町、広杭本町
		広東	広名田１・２丁目、広白岳１～６丁目、広白石１～４丁目、広両谷１～３丁目
		広南	広津久茂町、広長浜１～５丁目、広小坪１・２丁目
		仁方	仁方支所所管区域
安 芸	下 蒲 刈	下蒲刈	下蒲刈支所所管区域
	蒲 刈	蒲刈向	向
		蒲刈中央	田戸及び宮盛
		蒲刈大浦	大浦
	豊 浜	豊浜	豊浜支所所管区域
	豊	豊	豊支所所管区域
安 川	川 尻	川尻	川尻支所所管区域
	安 浦	安浦三津口	三津口１～６丁目、中央１丁目（３・４番に限る。）、中央５～８丁目、中央北１丁目（９～１９番に限る。）、水尻１・２丁目
		安浦内海	中央１丁目（１・２番に限る。）、中央２～４丁目、内海南１～６丁目、中央北１丁目（１～８番に限る。）、中央北２丁目、内海北１～７丁目
		安浦野路	中切、原畑、内平及び中畑（市原及び野呂山に限る。）
		安浦北	中畑のうち安浦野路分団の管轄区域を除く区域、下垣内、赤向坂及び女子畑
	浦	安浦安登	安登東１～６丁目、安登西１～１０丁目、中央ハイツ、亀戸、日之浦及び沖ノ手
音 倉	音	瀬戸	坪井１～３丁目、引地１・２丁目、鰯浜１～３丁目
		音戸東	北隠渡１・２丁目、南隠渡１～４丁目、高須１～３丁目
		波多見	波多見１～１１丁目
	戸	音戸南	畑１～３丁目、有清１・２丁目、先奥１～３丁目、藤脇１～３丁目
		音戸西	早瀬１～３丁目、田原１～３丁目、渡子１～３丁目
	倉 橋	倉橋西	石持、才ノ木、松原、上河内、小林、石原、尾曾郷、須川、西宇土及び大向
		倉橋北	重生、江ノ浦、重極、鳴滝、光ヶ瀬、小宇和木、宇和木、釣士田、長谷及び大江
		倉橋東	尾立、伊目木、納、脇田、室尾西、袋ノ内、須ノ崎、室尾東、倉井、大迫及び小尻郷
		倉橋南	海越、藤ヶ迫、唐船、鹿老渡、瀬戸、鹿島中及び宮ノ口

消 防 年 報

令和4年9月発行

編集・発行 呉市消防局消防総務課

〒737-0811 広島県呉市西中央3丁目1番9号

TEL:0823-26-0119 (代表) FAX:0823-26-0308

HP:<https://www.city.kure.lg.jp/site/syoubou/>